

実地見聞集 第二編

井上円了

Inoue Enryō

明治十九年九月一日ヨリ

同廿一年二月二十二日ニ終ル

334、

3〇社会学（適種生存）

社会ノ事ハスベテ外情ニ從フテ変化順応スルモノナルカ豆州熱海ヲ距ル海上三里ノ場処ニ初島ト唱フル一島アリ之ニ住スル人家総シテ四十二戸アリ其家ニテハ毎戸必ス半年間ノ蓄アリト云フ子孫相伝ヘテ其規則ヲ守ルト云フ

4〇習慣（心理学）

平日時計ヲ持チタルモノ時計ヲ失ヒ平日新聞ヲ読ミタルモノ新聞ヲ見サルトキハ格別ニ不自由ヲ感スル也

5〇前想（心理）

前想ノ影響ハ至テ大ナルモノナリ越後ニテ牛闘ヲナスニ其敗レタルモノハ道ニ勝チタル牛ニ遇ヘハ必ス避クル也又犬ヤ猫ニテモ一タヒ敗ヲ取りタルモノハ再ヒ勝ヲ取ルコト難シ人モ亦然リ其勝負上ノ事ハ前想ノ影響ヲ脱スルコト能ハス

6〇心理、習慣

苦楽モ長ク其地位ニアレハ苦楽トナラス

明治十九年九月一日ヨリ

1〇汎意（字形）

字形ヨリ起ル汎意ニ

蜀山人ハ昔時四方山人ナリシカ支那人之ヲ誤リテ

蜀山人トナセシナリ

2〇汎意（音）

東京ニテハひとしノ間違ハ常ノコトナルカ近頃避

病院ヲ死病院ト誤認シタリト云フ

例へハ富貴モ長ク其地ニアレハ業シカラス貧賤モ長ク其地ニアレハ苦シカラス病氣モ亦然リ府下ニアレハ府下ヲ思ヒ鄙ニアレハ都ヲ羨ム業モ亦然リ長ク用フレハ功ヲ奏セス

7〇心理、同上 苦業相□

子アルモノハ子ナキモノヲ羨ミ子ナキモノハ子アルモノヲ羨ミ多キモノハ少キヲ羨ミ少キモノハ多キモノヲ羨ム人情皆此ノ如シ

8〇心理 苦業

爰ニ甲乙丙三段ノ苦業アランニ甲ハ苦ノ度最モ少ク丙ハ最モ多シト定ムルニ甲ノ苦アルモノハ乙ノ苦ヲ忘レ甲ノ苦ナキモノハ乙ヲ思ヒ乙ナキモノハ丙ヲ思ヒ蓋シ苦ヲ絶スルコト不能

9〇前想

婦人ノ役者ヲ好ムカ如キ世間一般ノ通称ニヨルモノ多シトス

10〇論理、誤謬（注意）

東京ニテひとしノ間違アルコトヲ知りテ或ル者し

ハスベテひと改ムヘシト思ヒおしる粉ヲおひろこトカキタル処アリ

11〇連想（心理）

支那ニテ音楽ノ楽ノ字ヲ歓楽又ハ好楽ノ義ヲ有スルニ至リシハ連想ナリ

12〇同（19）（心理）

海ニ酔フモノハ海ノ臭氣ヲカグ毎ニ胸悪シト云フ是レ連想ナリ

13〇沈意

仏ニテハ出世トハ世ヲステルコトナルカ世間ニテハ出世トハ世ニ出ツルコトナリ

14〇心理

思想ハ人相応ノモノニシテ十四五歳ノ婦人ハ其病ニアリテ死ナントスルトキハ兎テモ死スルコトナラハ彼ノ衣服ヲ一辺着用シテ死ニタシナド思フ

15〇夢

夢ニ姑シヤトノ悪口ヲ言フテ放逐サレタル嬢アリ又自分ノ妻ノ毎夜襲フテ来ルヲ夢テ之ヲ殺害シテ自ラ知

ラサルコトアリ

16 ○汎意 (日本語ト英語トノ類似)

英語ニテ人ヲ殺スヲ「きる」ト云フ

17 ○注意 (心理)

余カ友人ニ医者アリ其話ニ道二人ヲ見レハ其顔色

黄ヲ帯フルトキハ彼レハ黄胆ナラント思ヒ青キト

キハ結核ナラント思フト云フ

18 ○注意、習慣、自動作用 (心理)

烟草ヲ好ムモノハ決シテ其道具ヲ忘ル、コトナシ

ト云フ

19 ○連想、(12) (心理)

道逢麴車口流涎

徳利ヲ見テ酒ヲ思ヒ重箱ヲ見テ牡丹餅ヲ思フノ類

20 ○社会、(故事)

肥前ニ浮盃津^{フバイツ}ト称スル津アリ此津ハ昔時徐福ノ着

シタル処ナリト云フ其時ノ船ハ盃ノ様ナル形状ヲ

有セリト云フ

21 ○順応、習慣 (社会、心理)

山間泉声ノ許ニ住スルモノ海浜波声ノ辺ニ住スル
モノハ自然ニ其音声高シト云フ

22 ○汎意、慣用 (論理、及社会)

東京ニテくわトカヲ混スルハ言葉ノ習用ヨリ其簾^{ツツ}

スリヘリテ短音ヲ生スルニ至リシナリ

23 ○汎意

秋田県某ノ話シニ

或ル学校ノ先生カ狐ハ野ヤ山ニ棲ンデ居ルゾト教

ヘシニ生徒ハ死ンデ居ルト誤解シ酒ハ害ガアルカ

ラ一生飲ムナト教ヘシニ左ラバトテ五六合ツ、飲

ミタリト云フ是レハ一生ト一升トヲ間違ヘタルナ

リ又和尚カ一女ヲ連レテ或ル神社ノ前ニ至リシト

キ其女カ小便ヲナサントセシカバ神ノアル処ニテ

小便スルト罰ガアタルゾト諭シ止メタリ後寺ニ帰

リ和尚ハ昼眠セシニ其女ハ和尚ノ頭ヘシタカカニ

小便ヲ為セリ和尚大ニ怒リテ之ヲ責メシニソレデ

モ和尚サンノ頭ニハ髪カアリマセント云ヒたるよ

し

24 ○社会、盛衰

虎列刺ノ影響ト題シテ八月二十四日ノ毎日新聞ニ

(休業同様ノモノ) 天麩羅屋、蕎麦屋、

蒲鉾屋、鮓屋、肴屋、菓物屋、

塩魚商、振人宿、寄席、戯場、

水泳場、芸妓、豆腐屋、

(不景氣ノモノ) 貸座敷、汁粉屋、料理屋、

餅菓子屋、古着屋、横浜通汽車、

盛 (頗ル繁昌ニ赴キタルモノ) 明樽屋、火葬場、

早桶屋、人足請負、菓種屋、医師、

牛肉店、鰻鱈屋、洋食店、鯉節屋、

葬式道具請負、煮豆屋、洋酒店、

右ハ府下ノ事情ナリ

25 ○虚礼 (社会)

虚礼ニハ形ノミヲ存シテ実ヲ失スルモノアリ又言

葉ノミヲ存シテ形マテモ失スルモノアリ例ヘハ

人ヨリ進メラレタルモノハ旨クナクトモ旨イト云

ヒ人ニス、ムルモノハ上品ニテモ粗品ト記シ御粗

末千万御馳走至極頓首再拜ナト云フモ言葉ノミノ

コトナリ迂生魯生不肖不敬、尊公大人先生ナト云

フモ亦此類ナリ

26 ○心理、唯物、良心

良心ハ常ナルモノニシテ悪心ハ不時ナルモノナリ

悪心ノ起ルハ海水ノ風潮アルカ如シ天象ニ迅雷風

烈アルカ如シ一時ヲ經過スレハ初二復スヘキ也

27 ○習慣 (心理)

慣習ノ変シ難キコトハ人ノ言語ニテ知ルヘシ地方

ニ生レタルモノハ東京ニアリテ永ク住スルモ極メ

テ懇親ノ談話或ハ至テ急速及ヒ怒リタルトキニハ

国語ヲ出スナリ

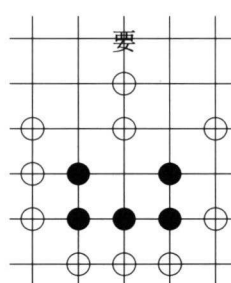
28 ○工夫 (碁)

黒先手ニテ範囲外ニ

出ツル法

第一ニ要ト記セル処

ニ黒ヲウツヘシ



二二二 此圖中ニ作ル黒石ニテ白石二ツ入レテ

一 一 四面共五石トナル法

二二二 次ニ白石二次ニ三次ニ四ヲ加テ左ノ式

ヲ得

壹個加 一 二 二

第一
ヘタル 二。 一

トキ 二 二 二

二個加 一 二 二

第二
ヘタル 二。 二。

トキ 二 二 一

以下次ヲ見ルヘシ

一 二 二

第三 三。 二。

一 三 一

第四 三。 三。

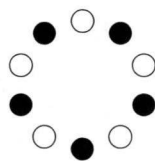
一 三 一

四個ヲ加フルニ至リテ止ム圖中「○」ノ印ハ白石

ノ印

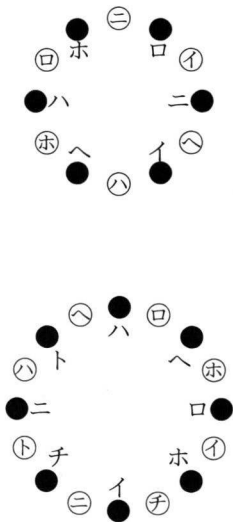
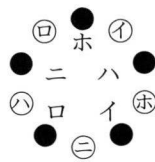
同上
白石五個ト黒石五個ノ左圖ノ如ク並列シテ二石

ツ、越エテ黒石ヲ白石ノ上ニ加フル法



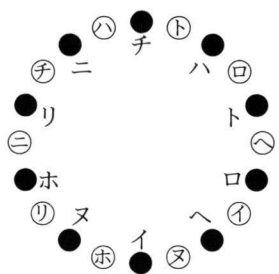
次ニ六個ツ、ノ時 及ヒ八個ノ時

其法

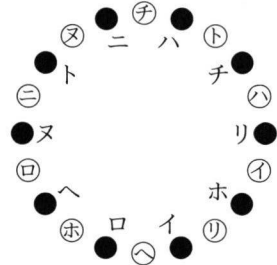


次二十個

第一式



式二第



后第三十五ヲミルヘシ

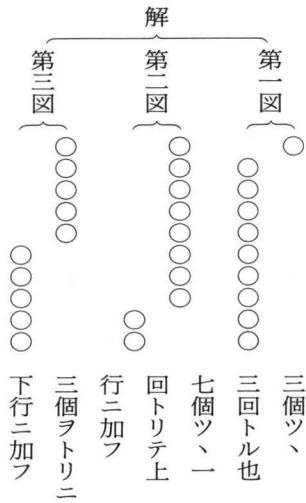
31 ○同上



此十個ノ石ヲ上下二段ノ間ニ於テ三個ツ、ト七個ツ、トニ取りテ甲図ノ変シテ乙図トナルニハ如何ノ如何ニヨルヤ但シ三個ツ、ト七個ツ、トハツゞキテトル也

32 ○同上

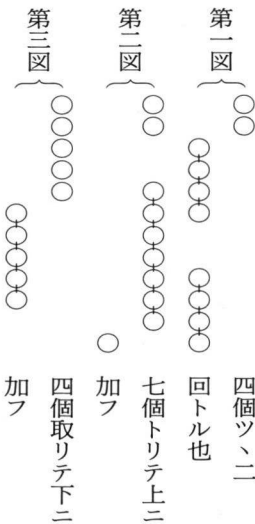
前図ヲ四個ト七個ツ、ニトルトキハ如何



33 同上

下図ノ如キ十八ヨリ

成リタル圈型ノ黑白



石アリ其中ノ黒石ノ

ミヲトリテ除カント

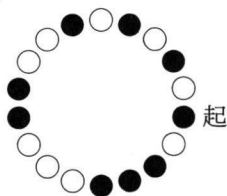
スルニ何レ点ヨリ起

リテ三個ヲ経テ四個

ノ石ヲトルニ宜キヤ

起点ノ処ヨリ左ニメクル也

34 ○同上



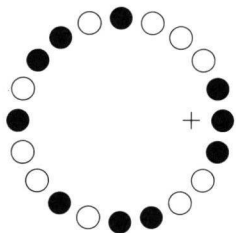
図ノ如ク黒十個ト白十個アリ

何レノ点ヨリ起シテ然ルヘキ

ヤ

但シ四個ツ、飛ヒ五個目

除クナリ



答「十」印ヨリ右ニメクルヘシ

35 ○同上 但四ツ、ヲ飛フ也

黒七個
白〃

36 同上 かるたニテスルヲヨシトス

六 七 八

七 五 三

二 九 四

37 同上 〇ヲ合セ見ルヘシ

此二九個方形ノ黒石 此印ノ処ニ白二

アリ 石ツ、ヲ加フヘ

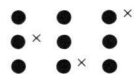
取 此上ニ白石若干ヲ加

消 へ四方八方尽ク十五

ツ、トナルニハ何レ

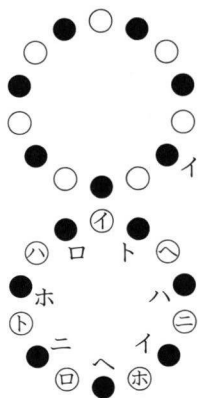
ノ処ニ加フヘキヤ

其図



38 同上

碁石ヲサイノ目ノ形ニ取ルコト



39 同上



此上ノ何レノ点ニ白ヲ加フレハ横



縦五ツ、ニナルヤ

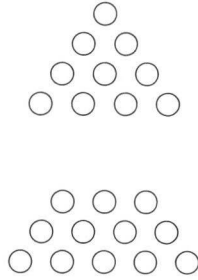


「×」印ノ処ニ壹ヲ加フヘシ

其上ニ今一個ヲ加フレハ六ツ、ニナリ二個ヲ加フ

レハ七個ツ、ニナリ候

40 同上



俵ノ如クニ石ヲ並ヘテ
其数ヲカソヘルコト

41 同上

石ヲ平方ニ並ヘ其中ヲ空虚ニシ其一辺ヲ基辺トシ
テ俵形疊ヲナスニ何個余ルトカ不足トカアルトキ
ニ

例ヘハ 壹個余ルトキハ

a = 一辺ノ石数

x = 石ノ惣数

$$a \frac{(a+1)}{2} + 1 = x, \quad x = 4(a-1)$$

此式ヲ開クトキハ 余リタル数ヲbト定ム

$$x = \sqrt{68 - 32b} + 10$$

若シ不足ナルトキハb数ヲ減スル代リニ加フル也

$$x = \sqrt{68 + 32b} + 10$$

42 優勝劣敗 (進化)

下総牧馬場ニ在勤セシ人ニキクニ馬ノサカリタル
トキニハ強キ牡馬ハ多クノ牝馬ヲ率キテ諸方ヲ徘徊
スルニ弱キ牡馬ハ一二ノ牝馬ト共ニ一隅ニ潜ミ
居ルト云フ

43 予言 (妖怪)

安政四年芝露月町ノ角即チ伊達陸奥守辻番ノ向ニ
一小家ノ八百屋アリ名ヲ弥吉ト称シ当時五十二歳
ノ老人ナリシカ其□ヤ鍊タルコト寒中モ常ニ裸体
ニテ家事ニ奔走シ居レリ同年二月比水戸浜大魚ニ

テ小章魚多ク江戸ニ輸入シ貧人マテモ尽ク之ヲ食

47○論理

スルヲ見テ弥吉曰ク此章魚ヲ多食スルモノハ必ス

太公望ハ直クナル針ニテ魚ヲツレトモ其実枉カリ

明年ノ秋ニ至ラハコロクト死スヘシ我ハ年内ニ

テオル何者其心魚ヲツルニアラスシテ人ヲツレハ

死スレハ此惨状ヲ見スト言ヒシニ果シテ己レハ同

ナリ

年十一月ニ死シ翌年八月ニ至リテ「コロリ」江戸

48○心理、唯物、心身関係

ニ蔓延セリ

人ノ造構父子兄弟同一ナルコトハ面貌ノミナラス

44○慣慣(心理)

人ノ家ニテ雇人ノ下女又ハ下男ヲ常ニ同名ニテ呼

49○盲人

フコトアリ是レ言ヒ慣レタル名ハ変シ難ケレハナ

熱海ニテ盲人ノ米ヲトグヲ見タルニ其已ニトギタ

リ

ルカ否ヲ試ムルニ先ツ米ヲ味フルヲ見ル

45○連想(心理)

子兒ノ外物ニ触レテ痛ヲ感スルトキニ其物ヲウツ

50○汎意、音、

熱海ニテ按摩カ療治ヲ尋ネニ来ルニお療治ハ如何

トキハ自ラ満足スルナリ

ト云フヲ聞キテおやうじハ如何ト聞クモノ多シ

46○論理

世間ノ言フ事ニ

51○比喩、純正哲学、宗教(仏)

始覺ニ遇フテ本覺ヲ知ルハ今時ノ月ヲ見テ昔時ノ

ごまかす

月ヲ思ヒ自家ノ春ヲ見テ他家ノ春ヲ思フカ如シ

まぜかへす

52○同上、宗教

あげあしをとる

我人ハ其罪重シ惡趣ニ沈ムヘキ身ナレトモ弘誓ノ

船ニ乗スレハ彼岸ニ達スルコトヲ得ル恰モ石ハ重クシテ水底ニ沈ムヘキモノナレトモ舟ニ乗スレハ沈マサルカ如シ

53○汎意 音(避クル為)

阿波ト安房ハ国音同シキヲ以テ一ヲ房州ト云ヒ一ヲ阿波ト云フ又上野ト下野ト共ニ野州ナレトモ之ヲ分ツヲ一ヲ上州ト云ヒ一ヲ野州ト云フ又上州ト常州ハ誤リ易キ故一ヲ常陸ト云フ

54○欠(アルモノ、欠ケタルトキニ苦ヲ感スルコト) 心理 情緒

父母兄弟等ノ没去シタル后ハ親ヲ思ヒ兄弟ヲ思フノ情ノ密ナルハ他ノ情ヨリ起ルコトアルモ一ハアルモノ、カケタルヨリ起ルナリ

55○汎意、

天保錢ハ天保年中ニ出来タルヨリ之ヲ字シテ天保ト云フ又頑固旧弊ノモノヲ天保時代ノ人ト契合スルニ至ル

56○記憶 心理

「フツクチキ」ニ平字ナシ

瓜ハニ瓜マナク瓜マニ瓜マアリ

是レ記憶ヲ助クルモノナリ

57○同上 心理

正三五七八十ヤ十二月日数三十一日ト知レ二月ノミ二十八日四六九十一月ハ日数三十閏月ハ四年ニ一度其時ハ二月ノ末ニ一日ヲ増ス

58○決心断行 心理

父ハ下駄ニテユケト云ヒ母ハ草履ニテ行ケト云ヒ其トキ片足ニ下駄片足ニ草履ヲハキタリト云フ

又家貧ニシテ其女美ナリ家富テ其女悪、何レヲ撰フヤ

是レ衡力ノ多寡ニヨルモノナリ

59○長崎俗語 言語方言

蛙ノコト呑空、一名惑道

小刀ヲ「ハーカ」ト云 蘭語ナラン

猿ヲ「モンキー」ト云フ

破壊ノコトヲ「サランパー」支那語

蛇ナクチハハ かほちやボウ 薩摩芋琉球

御嬢サンノコトヲ下女カ呼フニ「ゴ、サマ」ト云

フ

男ノ方 〃 〃 〃 「オサマ」ト云フ

ぼつちやん 〃 〃 〃 おちーやまと云フ

父ノコトヲ中等社会ニテ「オト、」ト云フ

あほたノコトヲ「せんきう」ト云フ

売女ヲ 黒ちりめん^名よもやちりめん

下等ノ娼妓ヲ平八ト云フ

子供ノ肩ノ上ニ載セルコトヲ「ズツキヤンく」

ト云フ

其源因ハ獅子躍リニ此語ヲ以テ調子トスルニヨル

唐辛ヲ胡椒ト云ヒ胡椒ヲ^{ツツマツ}拉胡椒ト云フ

ソウシテカラト云フ処ヲ「ソウシテカラン」ト云

フ

情談ヲ「ザウタン」スルト云フ

駒下駄ヲ引草履ト云フ^名マサ下駄トモ

背虫ヲこウ後ト云フ^{向後ノ意か}

剃刀ヲ単に「そり」ト云フ

鋸ヲ「のこ」ト云フ

かななノコトヲかなト云フ

一般ニ西洋人ヲ和蘭駄ト云フ

支那人ヲ唐人ト云フ

朝鮮人ヲ^{コリヤ}高麗人ト云フ

其様ト云フコトヲそんげんと云フ此様ヲこんげん

あの様ヲあんげんと云フ

焼芋ヲほっこりト云フ

足ツギノコトヲばんこト云フ 一説蘭語ナリト云

フ

手燭ヲ或ハ手あんどんと云フ

寒がりノコトヲひよなしト云フ

日向スルコトヲ日向びへくりト云フ

乞食ノコトヲばんぞう^{番僧}ト云フ

そるばつてんとハ「ソウダケレトモ」ノ義

火ツ^{シユツ}宿ト字引通りニ云フ

七ヲひちト云フ 但九州一般ナリ

人ニ向フテ物ヲヨコシテクレト云フ処ニ物ヲヤリ

テクレト云フ全ク反対ナリ

「クレ」ヲクタンセト云フ

「スカナヒヤツ」ト云フ処ニ「スカンピー」ト云フ

60○長崎俗歌 社会

(オンダイヤ)ソングン、シナンスナ、バケシトツ
タへ、ドウイウ、コンナンハ、ヨッサシイ、モン
ヂヤラウカ、(ハウカイ)、オンドガ、アオモチヤ、
ホカニアル、(スカンピー)
之ヲ訳スルニ

其様ニ為サルナ、馬鹿ニシテ居ルヨ、何様ニ此人
ハイヤシイ心ノイヤシキコトモノタラウカ、己レカ色女ハ外

ニアル(スカナヒ人)「ハウカイ」ハ助語

初ニ「オンダイヤ」ト云フ語ハ「私ハイヤ」ト

云フ意

月琴ニ和スル様ニ組立テタルモノナリ

61○同上 同

長崎ノ山ノ端ニ入ル月ハヨカ

コンゲン月ハエツトナカバナ

(コンナ月ハ余リナヒヨノ意)

右ハ山陽翁カ長崎ノ俗語ヲ集メテ歌ニ製シタルモ

ノ

62○長崎語

田舎漢ヲ「イナカゾウ」ト云フ

紙鳶ヲハタ幡ト云フ

乳母ヲ番母ババヘ(土佐ニテ老母ノコトヲババンバト云フ)

牛肉ヲ田肉クシト云フ

火ヲ「オキ」ト云ヒ重納ヲ或ハ「オキカキ」ト云

フ

油指ヲ油小出ト云フ

○神事祭ヲ九日ト云フ其源因長崎ニテ従前祭礼土地

ノ諏訪祭ハ必ス九日ニアリシニヨル但シ長崎市中

ノ諏訪神社ノ祭礼ニ限ル

63○風俗同上 (社会)

曆旧三月ノ紙鳶上ケ土地ノ語ニテハ旆上ケ盛ンナリ

其旆ハスヘテ角紙鳶ヲ用フ旆ノ大ナルモノヲ「ツ

ブラカシ」ト云フ

就中三月十日最盛ナリ市中拳テ野ニ出テ、旆争ヲ
ナス其外二日程大会アリ其間ニハ五百円ホト毎日
費スモノ多クアリト云フ

旧曆八月ノ盆祭りヲ精霊流ト云フ麦ガラニテ十間

程ノ舟ヲ作り供物ヲ其上ニ載セ之ヲ数十人ニテ担
へ海中ニ送り出シテ流スヲ例トス其帆ニハ阿弥陀
ノ図又ハ西方極楽浄土ト書ス夜分一時ニ始マリ夜
明迄ツ、ク

新曆十月十一日乃至十三日諏訪ノ祭礼ナリ其主ナル
モノハ躍リトス毎年躍ノ風ヲトリカヘテ八年目ニ
モトノ躍ニモトルナリ

64○風俗 同上 (社会)

元朝ノ礼

朝戸ヲ開カスシテ雑煮ヲ食ス食終リテ戸ヲ開ク

雑煮ハ魚類其外種々ノモノヲ加フルナリ

冬至ノ夜ニ関羽ノ祭ヲナシ善哉シルコトヲ食フヲ礼

トス

除夜ニ豆まきヲナス

65○長崎気風

氣風ハ稍、高慢ヲ帯ヒ旧習ヲ貴ヒ衣食ハ華美ヲ好
ムノ風アリ門閥ヲ貴ヒ親類ヲ親クスルノ風アリ

(66は欠番)

67○汎意及ヒ連想 心理及ヒ論理

長崎ノ祭礼ハ諏訪祭礼ハ以前ハ毎年九日ニアリシヲ以
テ當時其日カハレトモヤハリ「クンチ」ト云ヘハ
直チニ祭礼ノ異名トナレリト云フ

68○同上 心理及論理

東京ニテハ外国人ヲスヘテ唐人ト云フモノアリ又
西洋品ヲスヘテ唐物ト云フ
然ルニ長崎ニテハ唐人トハ支那人ノコトニテ西洋
人ハスヘテ和蘭人ト云フ

69○比対 心理

スヘテ心理ハ相對ヨリ成ル白ヲ見タ后ニ赤ヲミレ
ハ著クミユルカ如シ是ニ反シテ「アイスクリーム」
ヲ食フタ后ニ氷水ヲ呑ムモ氷水ノ冷ヲ感セス氷水
ノ后ニ冷水ヲ呑ムモ亦其冷ヲ感セスト云フ

70○比対 心理

人ノ御馳走ニ珍ラシキモノヲ出スハ□□□□ノ情ヲ
迎フルナリ

71○仏教

維摩經ニ如来一音演說法衆生隨類各得解トアリ是
レ宗旨ノ分ル、所以ナリ

72○汎意 歌ノカケ語

身ヲ捨小舟

73○長崎方言 五十九ノツ、キ

くろ宗トハ耶蘇宗ノコト

寺トハ私立小学校

「しうじ」トハ醜か裏長屋

平ちぢ口トハ「mamsh」ノコト

始末妨トハ吝嗇家ノコト

74○熱海漫吟

浴後迎涼出海村秋光相逐入梅園仙源亦呈肅寥色唯
有□護石門

右ハ遊梅園作

吟杖相扶到梵宮婦軫落日恨無窮千年遺跡向誰問唯

有老松号晚風

右ハ尋温泉寺

75○習慣（心理）

髭ヲ延シタルモノ俄ニ髭ヲ剃去スル后ハ髭ナキ処
ニ手ヲアテ、髭ヲヒネルナリ

日本服ヲ着タルモノ俄カニ洋服ヲツクルト手ヲ延

ストキニ袂ナキニ袂ヲオサヘントスルナリ

76○相州藤沢辺ノ方言

物ヲクレト云フコトヲ「ケーナ」ト云ヒ長年ノモノハ「ケー
ラシタ」トモ云

度々クルト云フコトヲ「ビヤウド」クルト云フ

大ソウト云フ 「マサカ」ト云フ

大ソウ可笑コトヲ「マサカ」可笑

77○智力 進化

身延山ノ麓ニ住スル獵師由井鉄造ハ数年前一頭ノ
小猿ヲ生獲テ飼置之ニ文字ヲ学ハセシニいろは四
十八文字ノ書方ヲ覚ヘ人ノ指図ニ從フテ仮名文字

ヲ画クト云フ（九月十九日ノ毎日新聞）

78 ○大木

伊豆天城山ノ南ノ方ニ大樟木アリ其ウロツノ中ニ
ハ四十人ノ人入ルヘシト云フ近年ニ至リ全ク枯レ
タリト云フ

79 ○紀州人ノ話

紀州ノ者伊豆ニ来リ山阪ヲ見テ是レ未タ山ニアラ
ス歎ナリト云フ
紀州ニ豪家アリ浜中ト称ス六日路歩リタケノ土地
ヲ所有セリト云フ

80 ○大島

伊豆大島ハ桜ノ木ノ最モ多キ所ニシテ之ヲキリ取
リテ東京ニ出スヲ業トス

蠅至リテ多ク二三月頃ヨリ已ニ出ツルト云フ

81 ○大島風俗 社会学

彼地ノ者ハ余程婦人ノ動ク所ニシテ男女共ニ袖テ
ナキツ、袖ノ如キモノヲ着ル也故ニ「タスキ」ハ
不用ニ候も土地ノ習慣ニテ之ヲ用フ蓋シ飾ノ為メ
ナリト云フ「タスキ」ヲツケテ頭上ニ物ヲ運フ也

82 ○碁 方円新法序文ニヨル 社会学

昔時、吉備公、橘良利、僧玄尊
天正ノ初 本因坊算砂

其後 道碩、利玄、算哲、因碩等輩出ス

元禄宝永ノ間 道策、道知、出ツ

文化文政ノ間 丈和出ツ因碩ト対壘争

丈和ヲ継クモノ秀和アリ

秀和ニツイテ秀策及ヒ秀甫アリ

甫ハ和二師事シ策ニ兄事ス比三秀皆丈和ニ淵源

ス

83 ○諸傑輩出 以下潭海ニヨル 社会学

文化文政ノ間

1、太田南畝名ハ覃幕府士人蜀山先生ト称ス

2、岩瀬京伝名ハ醒字ハ壘醒々斎ト号ス小説家ナリ

其弟ヲ京山ト号ス伝文化丙子九月七日死ス

3、滝沢馬琴曲亭ト号ス名ハ解字ハ瓊吉小名倉三後

清左衛門ト改ム晩ニ削髮篁民ト称ス江戸人ナリ嘉

永元年十一月六日没ス年八十二(年七十余患眼殆

盲)

85○小説家

4、三馬名ハ泰輔字ハ久徳菊地氏式亭ト号ス又遊戯堂ト称ス文政壬午閏正月六日病没ス年四十八其子ヲ小三馬ト云フ共ニ小説家ナリ

享保元文ノ間小説ハ文字屋本ナルモノアリ其碩ノ著ス所京師ノ人也
浪花ノ小説家ニ井原西鶴ト称スルモノアリ元禄六年八月十日没ス

5、一九重田氏名ハ貞一 小字幾五郎別号一九享和二年道中膝栗毛ヲアラハス天保辛卯八月七日病歿年五十七

86○芭蕉

五十七

翁ハ伊賀人父ヲ松尾儀左衛門ト云フ翁ノ名ハ宗房

6、高屋種彦名和久彦四郎ト称ス徳川氏ノ世臣初メ俳歌ヲ善クシ愛雀軒又足薪翁ト称シ後小説ヲ以テ著ハル田舎源氏及ヒ諸国物語ノ書著アリ天保壬寅七月十八日死年六十

俳歌ヲ善クシ愛雀軒又足薪翁ト称シ後小説ヲ以テ著ハル田舎源氏及ヒ諸国物語ノ書著アリ天保壬寅七月十八日死年六十

十月十三日没ス年五十三

三馬著ス所俠太平記向鉢巻アリ

翁ノ門人中十哲ト称スルモノ

七月十八日死年六十

其角、嵐雪、杉風、桃隣、園女、去来、丈草、支考、許六、正秀

三馬著ス所俠太平記向鉢巻アリ

一九ノ父ハ駿府市尹属吏タリ一九二十一ノトキ江戸ニ遊フ

其角ハ近江堅田人宝永四年二月死ス

戸ニ遊フ

徂徠ト同時代ナリ

鵬高文飛抱一皆文化文政間ノ人也

87○偶合、

84○八犬伝

八犬伝筆ヲ文化十一年正月ニ起シ天保十二年八月ニ成ル凡ソ二十八年

井伊直孝、内藤忠興直孝ヲ其第二請フ直孝豪飲能ク之ニ応スルモノナシ忠興ノ僕馬場三郎兵衛ナルモノアリ直孝ノ前ニ進ンテ飲ム三郎ハ武田氏ノ將

ニ成ル凡ソ二十八年

モノアリ直孝ノ前ニ進ンテ飲ム三郎ハ武田氏ノ將

馬場信房鹿腹子ナリ大阪陣ノ時正ク直孝ト戦フタルモノナリ

88 ○習慣 心理

山間ニオルモノハヨク泉風ト雨声ヲ聞キ分クレトモ始メテ山間ニ入ルモノハ之ヲ聞分クルコト不能

89 ○記憶 心理学

二四不同ニ六対ヲ以テ詩ノ平仄ヲ記スル也

90 ○計算

人寿五十年ト定ム

五十年ハ 六百日 壹万八千二百五十日ニ閏十二

日半ヲ加ヘテ一万八千二百六十二日半

其中十五歳マテハ無感覺トシテ之ヲ引キ去レハ

思想アル生活ハ三十五年

半日眠睡スルノ見レハ

十七年半ノ生活ナリ

若シ十昼夜ノ三分ノ一眠ルトスレハ二十三年三分

ノ一ナリ

食事ノ時間ヲ一日三時間トスレハ五十年間ノ時間

ハ五万四千七百五十時間ナリ即チ二千二百八十一日二分五厘ナリ即チ六年二分五厘ナリ

大小便ヲ一時間トミレハ以上ノ三分ノ一即チ二年

余ナリ

一日愉快ノ時間ヲ二時間トスレハ思想アル生活ノ

三十五年ノ間ニ二年ト十一ヶ月ヲ得ル

然ラハ我人ノ愉快ノ生活ハ二年ト十一ヶ月ナリ

91 ○大徳

唐太宗ノ時 玄奘、玄琬、慧浄、法順、道□等ノ

大徳アリ

92 ○相撲ノ詩歌 以下相撲大全ニヨル

往昔相撲ノ勝負争ニ行司詭ミタリ

雪ハ折らん竹ハ折れしと積るまに

風吹払ふしのゝめのそら

与浪華相撲雷

蛻翁 赤石人蛻巖先生

撰雲一片送春雷浦上東風煖更催不怪夜来驚百里出

暁色報新晴

93 ○相撲起源

角觥ハ支那ニテハ六国ノ時ニ始マル

史記ニ秦ノ二世皇帝甘泉宮ニアリテ角觥ヲ為サシ
メ樂メリトアリ其後漢武帝甚タ之ヲ好メリ

朝鮮国ニテハ忠敬王ノ時(元順帝至正三年ニ当ル)

癸酉二月本闕ニ□シテ角觥ノ戲ヲ見ルト東国道鑑
ニ出タリ

又天竺ニテハ釈迦牟尼因位ノ時悉達太子ニテオハ
シセカ淨飯王ノ御弟白飯王ト云ヒシニ提婆達多ト
テ太子アリ彼ノ升男伴摩邦太臣ノ御姫耶輸陀羅女
ヲ論シテ或ハ腕押相撲杯ヲ取ラセ給ふ修行本記經
本行經ニ見エタリ

本朝ニテハ神代ニ建御雷神御名方神力競ノ事イワヒ旧事
記ニ見エタリ

次二十一代垂仁天皇七年七月大和国当麻蹶速宿禰
トノ相撲アリ

勸進相撲ノ開基ハ

山城国愛宕郡田中村干菜山光福寺開山ヨリ四代目
宗円和尚ト云ヘル住僧当山鎮守八幡宮再建ニ付人

皇百十一代後光明院ノ御宇寛永二十一年ヲ始メト
ス

94○相撲虚礼。社会学

土俵ヲ円クスエルハ大極ヲカタトル四方ニ四方ヲ
合セ内外ニテ三十二俵ナリ内土俵十六俵ノ内左方
ニ二俵右方ニ二俵合セテ四俵除ク左右ハ両儀ニシ
テ左方ヲ陽トシ右方ヲ陰トス二俵ツ、除ケテ一道
ヲ作ル今之ヲ二字口ト云フ阿吽アウノ二ツヨリ出ツル
ト云ヘリ然ルニアラス古ヘ相撲已ニ初ラントセシ
ニ俄カニ大雨ノ降り土俵ノ中ヘ水溜リシ故相撲ヲ
猶予セシ時左右ノ土俵一ツ宛除ケ水ヲ流セシコト
ニヨリ水流ト云フ然レトモ其名目今知ル人稀ナリ
内土俵四俵除キテ残り十二俵ヲ十二支ニ象リ外土
俵四俵除テ残り十二俵ヲ十二月ニ標ス近例ハ内土
俵ハカリヲ除ケ外土俵ニ俵宛ハ除ケズ
四本柱ハ四季ニ標ス東ハ春ニテ其色青色西ハ秋ニ
テ其色白色南ハ夏ニテ赤色北ハ冬ニテ黑色ナレハ
其色々ノ紹ヲ以テ巻クヲ着列トス御前相撲ノ風流

ナル物故ヨリツヒニ一樣ノ色紹トナシタリ

四本柱ノ上ニ水引幕ヲ張ル是レモ甚タ習アル事ニ

テ地方ハ陰ニテ水徳ヲ司ル水ノ縁ニヨリ地ヨリ張

リテ張り納メル其色ハ時風ニマカス中ニ直ハ幣帛

ハ土ノ色ヲ標シ黄色ヲ用フルヲ古実トス然ルニ其

后神道ニテ白幣ヲ用フルヲ例トス

勝負

95 ○相撲儀式起源 社会

勝相撲ニ弓ヲ渡ス起リヲ尋ヌルニ元龜元年二月二

十五日織田信長公江州常楽寺ニ於テ国中ノ相撲取

共ヲ召集メ勝負ヲ御覽アリケルニ宮居眼左衛門ト

云ヘル者ニツ、ク相手ナカリケレハ御褒美ニ御秘

藏ノ重藤弓ヲ賜ハリケル是レ濫觴ナリ勸進相撲ノ

十日目ノ結ヒニ勝チタル関ニ弓ヲ渡スコト此余風

ナリトソ

96 ○大男ノ部

里見山丈右衛門六尺五寸 波戸崎岸右衛門六尺二

寸 釈迦嶽雲右衛門七尺一寸六分

此人雲州ノ産ニシテ明和九辰ノ年三ヶ津大相撲ノ

関取ニテ其名高ク鬼勝象ノ助以来カゝる大男是ナ

シト云フ古今無双比類ナキ関取ナリ 以上ハ相撲

大全ニヨル

97 ○汎意 字形ヨリ生スルモノ (論理)

貨幣ノ幣ト惡弊ノ弊ノ相混スルコトアリ

98 ○連想 記憶 (心理)

余相撲ヲ始当麻蹶速野見宿禰ト相撲ハ垂仁十一年

ト心得タリシニ七年ニテアリシ十一年ト思フタル

ハ十一代ト云フヲ誤リタル也

99 ○記憶 (心理)

日本ノ数学ハ語ヲ作りテニ一転作ノ五、三一三十

ノ一、見一無頭百九ノ一ト云フハ記憶ヲ助クルモ

ノナリ

西洋ノ論理学ニ推測式ノ正式ヲ詩ニツクリタルモ

同一例也

100 ○発句

勝ノ発句 (文字)

101 里程標

スミレ咲ク鎗リ一筋ノ庭ノ跡

是レハ芭蕉ノ鎌倉ノ句ニ

夏草ヤつはものとももの夢ノ跡ト云フニ同シ

或ハ発句ニ

開カネハ扇子モ風ノ蒼かな

東京ヨリ函館マテ二百三十五里十七丁

青森ヲ
ヘテ

〃〃 根室〃 四百十二里二十八丁余

〃〃 青森 二百〇二里九丁

高知 二百三十九里三十四丁卅七間

山口 二百六十九里七十四間

秋田 百四十九里三十三丁二間

島根 二百三十二里九丁二十五間

長崎 三百四十四里二十町五十間

京都 百三十一里十九間

大阪 百四十四里一丁五十一間

鹿児島 三百八十九里四丁三十六間

沖繩 海路四百十五里余

神奈川 八里十八丁余

兵庫 百五十四里七十二間

新潟 百七十五丁余

埼玉 六里四十二間

千葉 十里十一丁余

栃木 二十三里十八丁余

茨木(トキ) 二十九里二十九丁余

群馬 二十六里十七丁

静岡 四十六里十三丁余

山梨 三十五里十七丁余

三島 百十二里十五丁余

愛知 九十四里九丁余

岐阜 百三里三十町余

長野 五十八里三十三丁余

福島 七十里二十九丁余

堺 百四十七里十六町余

滋賀 百二十八里十町余

宮城 九十二里二十八丁余

山形 九十五里二丁余

和歌山 百六十一里二十二丁余

岩手 百四十里十六町余

石川 百六十四里十四丁余

岡山 百九十里六丁三十一間

広島 二百三十三里三十四丁余

愛媛 二百四十九里八丁余

福岡 三百十里十六丁余

大分 三百二十里二丁余

熊本 三百三十五里廿二丁余

但シ県庁マテノ距離

102 ○同情 心理学

田舎ノモノ諸生ノ暑中帰省ヲミレハ徴兵ノ帰県ト

思フハ同情ヨリ生シタルモノナリ

103 ○余典

本年ノ虎刺烈ウラチヲ恐リテ支那人ハ横浜寄留地ニテ関

羽ノ祭ヲナシタリト云日本人ハ神ヲ祭ルニ支那人

ハ人ヲ祭ル

104 ○汎意 論理

金剛石ト□書ト「ダイナマイト」トヲ混シタリ三

種ハ全ク異ナリタルモノナリト雪中梅ト云書二見

エタリト云

105 ○盗心狂病 (心理、生理)

横浜高嶋町八丁目ノ田沢林之助 (四十七) ハ窃盜

シタルニ□種々取調ノ末一種ノ精神病ニシテ原名

「クレプトマニヤ」所謂盗心狂病ナリト云フ

106 ○汎意 (論理学)

東京甲州街道ニ新宿ト云フ場処アリ又水戸街道ニ

新宿ト申ス場処アリ共ニ同字ヲ用ヒテ一ハ「シン

ジク」一ハ「ニヒジク」又ハ「アラト読ムハ汎意ヲサ

クル為メナラン

107 ○歌

染崎延房 (二世為永春水) 辞世ノ歌

ケヨウハ故郷ノ空ニスム月ヲイザヤナガメテ遊

ヒアカサン

原担山 般若心経ノ心

サレヨサレカシコニサレヨ天ツ日ヲ

カクス浮雲サリツクルマデ

108 ○新教

明治九年九月大道長安氏曹洞宗ヲ脱シテ救世教ヲ

創ス

109 ○汎意(論理)

「ヒヤ〜」謹聴ノ語ヲ種々転用シテ人ノ返事スル

ニ「ヒヤ〜」ト云フ犬ヲ「カメ」ト云フニ同シ

房州ノコト

110 ○汎意

非職ノ事ヲ「バツテラ」ト云フ

111 ○人類進化(進化論)

□仏京巴黎府ニテ人類最先ノ種屬トモ思ハルヘキ

一種ノ人ヲ衆人ノ縦覧ニ供スル由皮膚ハ黒色ヲ帶

ヒ全身ハ毛ヲ以テ掩ハレ腕及ヒ足ノ毛ナドハ猿ノ

毛ニヒトシク足ハ小ク且ツ短ク腕ハ甚タ長ク眼ト

毛トハ共ニ頗ル光沢アリ鼻ハ稍低ク耳ハ通例ノ人

カ備フル所ノ軟骨ヲ有セス又ハ少シハ智覺ヲ具フ

ル者ノ如クニシテ大ニ人形ヲ愛玩セリ彼ハ本年甫

メテ十二歳ニシテ暹羅ノ北部ニ住スル人種ニ屬シ

現ニ其人種ノ數家族ハ同國ノ王宮ニ養ハレ居ルト

云フ

112 ○同上

是マテ交通絶エテナカリシ南海ノ諸島ハ住々有尾

ノ人ヲ山中ニ見ルト云フ

113 ○思想ト外觀トノ關係 心理学

或ル仏蘭西ノ新聞ニヨレハ靴ノカ、ト並ニウラノ

ヘリカタハ人ノ性質ニヨルモノナリ例ヘハ其平ラ

ニヘリタルトキハ其主ハ氣力ニ富ミ判決ノ速カナ

ル事務ニ長シタル人ナリ其ガワノ方余計ヘリタル

トキハ其主ハ勇敢ナル人ナリ性質怯弱ナル人ハ裏

ガワノ余計ヘリタルニテ知ルヘシト(羅馬字雜□

ニヨル)

114 ○世界鉄道ノ長

一千八百十四年明治十七年ノ末ノ調二十九万一千マイ

ル(我拾二万九千三百十里ニ當ル)ニシテ最后ノ

五年間ニ六万マイル余フヘタリ其中殆ント半分ハ
 亜米利加ニアリト云フ

115 ○記憶 (心理)

人ニ記憶力ノアルコトハ盲人ノ將碁ヲシテ知ルヘ
 シ

豆州熱海露木某カ小田原ニ行クトキ吉浜ノ先キ到
 リ二人ノ按摩カ彼手テ負ケタトカ勝ツトカ云フヲ
 聞キ怪テ尋レハ今朝熱海ヲ立チテ道々將碁ヲサシ
 テ此ニ至リ漸ク唯今勝負ツキタルナリト云フ
 東京ノ或ル盲人ハ將碁ヲ暗シ其子ハ盲人ニアラサ
 ルモ親ニツキテ將碁ヲ稽古シ遂ニ暗スルコトヲ得
 毎夜寐テヨリ父子ニテ將碁ヲサスト云フ

熱海ニ盲人ニテ碁ヲ人ニ対シテ打ツモノアリト云
 フ其者ハ按摩ナリ

116 ○遺伝 (進化及ヒ心理)

遺伝ハ碁將碁ニテヨク知ルヘシ之ヲヨクモノハ其
 子必スヨクス数学モ亦然リ其他ノ技芸大抵遺伝アリ

117 ○注意 勢力保存 心理

將碁ナトニ名アル人ノ互ニ相ウツトキハ其極処ニ
 至レハ互ニ其手ヲ目ヲツブリテ考フルナリ是レ注
 意ヲ一点ニ用フル為メナリ

118 ○將碁ノ奇事

飛車	角	馬	王	象
		歩	歩	

此時先方ニハ手ニ金銀歩
 等ヲ有スレトモ自身ハ何
 ニモ有セス之ヲツマセル
 方ハ歩ヲ進メテ王ノ頭ニ
 至リ金ニ成ラサルヲ要ス

119 ○長寿

愛智県三河国碧海郡某村ノ百姓万吉ト云ヘル者ハ
 慶長五年ノ出生ニテ本年ハ三百〇五年ナリト改□

新聞ニ見ユ十九年 同人ノ孫方右衛門八元 祿
 年間ニ生レタリト云フ

120 ○論理 論理学

余熱海ヨリ帰ル汽船中ニアリテ傍人ノ談話ヲ聞ク
 ニ横浜ノ西洋館ノ手代ニ雇ハレタルモノナリトテ

云フ英国ノモノハ亭主ハ婦人ヲ尊敬スルカ其故ヲ
問フモノアレハ曰ク彼国ハ帝王カ女主ナルニヨル
ト

121○語類適用 論理汎意

コツクリ術ハコツクリノト一方ニカ、ムヨリ名
ケタルニ其語ヲ漢語ニ写シ狐狗狸トセシナリ

122○推理(心理、論)(数学)知恵ノ理

一童子ニ会シテ百文ノ錢ヲ携ヘ八文ノ茄子若干ト
七文ノ瓜若干ト十一個ニ付一文ノ唐辛若干ヲ買フ
テ其總數亦百ナラシメント欲セハ如何ナル割合ニ
シテ然ルヘキカ

答 茄子壹個、瓜十個、唐辛二十

123○論理汎意 滑稽

独逸ト日本混合ノ滑稽

「海カメール」「年カヨリテアルト」

124○心理 盲人啞人

啞人ハ幼時ニ多クシテ長スルトキニ少シ是レ啞人
ノ不愉快ナルヨリ短命ナルニヨルナラン

或ハ独逸説ニ啞人ハ口ヲ動かサ、ルヲ以テ肺ヲ弱
クスト云フ

125○同上

啞人ノ統計ニヨルニいとこ通シノコンレイニ多シ
ト云フ

126○統計

長寿ノ統計ニ女ハ大抵出嫁シタルモノニ多ク男ハ
養子ニ多シト云フ是レ必竟人ノ家ニ行キタルモノ
ハ我儘不品行少キニヨル

127○思想連合(心理及ヒ論理)

筆ヲヨクカク人ヲ名筆トカ云ヒマス

128○同上

余長岡ニアリシトキ毎金曜ニ魚肉ヲ食セシムルノ
例アリシカハ今ニテモ金曜日ト云フト魚ノ日ノ如
ク思ハル、ナリ

129○俗説

クシヤミ一ツノトキハ人ノ誉ヲ得タルトキナリニ
ツノ時ハ毀ヲエタルトキ也

130 ○同

齒ノ落タル夢ヲミレハ親ノ死シタルトキ也ト云フ

131 ○同

食后ニ湯ヲ汲ムトテ鉄瓶ノ口ヲ外ニ向ケテ汲マン
トスルトキハ其日ニ客来□□ヘシト云フ

132 ○同

三日ノ日ニ旅立スルト災難アリト云フ

133 ○同

耳ノカユキトキハヨキコトヲ聞クト云フ

134 ○同

不成就日ハ三、二、一、四、五、六ナリ但シ其訳
ハ正月三日ヲ不成日トシ夫レヨリ九日〱目ヲ不
定日トスル也又二月ハ二日ヲ不成日トシ夫レヨリ
九日目〱ヲ不成日トスル也三月ハ一日ヲ不成日
トシ夫レヨリ九日目ヲ不定日トスル也四月ハ四日
五月五日六月ハ六日ヲ始メトシ其后ハ九日目ツ、
ナリ七月ヨリハ元ヘモトリ三日八月ハ二日九月ハ
一日ト次第二推算スル也

135 ○同

障子ニ島影カウツルト客人カ来ルト云フ

136 ○同

人ノ生レタル日天氣吉ケレハ其葬式日モ天氣吉ト
云フ

137 ○同

婚禮ノ晩ニ雨ノ降ルハ目出度兆ナリト云フ

138 ○同

婚禮ノ客ニ茶ヲ吞マスル勿レ茶ヲ吞スルハ人ヲ茶
スルノ無礼ニ当ル

139 ○同 (花ノ散ル頃ヲ忌ム也)

×婚禮ノトキニハ色ノサメ易キ着物ヲ用フルヲ不許
婚禮ノ席ニ帰ルト云フコトヲ禁ス故ニ帰ルトキニ
ハ御開キト云フナリ
御客ノ帰ルトキニ見送りスルコトヲ禁ス死スルト
キモ亦然リ
×結納ノ文面ニ帰り点ノアル文字ヲ用フルコトヲ禁
ス渾テ帰ルコトヲ忌ムニヨル

140○同

年夜ニ蕎麦ヲ食スルハツマク為メナリト云フ

141○同

子供ハ火遊スルト小便垂ル、ト云フ

142○漢語漸

漢學者ヲ以テ自ラ任スル医者アリ人ノ股ニ腫物シタルヲ見テ是レ痲^{イヤツ}ナリ何者□ニ桃ノ大□タルトアリ如何シテ医スヘキヤト問フニ南ニ向フテ居ルヘシト何者雍也南面セシムヘシト

143○同

紺屋ノ「アサツテ」ト称シテ紺屋ハ注文スルニ至テ長キモノナリ何者語ニ公治長トナリ

144○汎意（語ノ転用）

藪医トハ庸医ノ「ヤウ」ヲヤブトヨミタルニヨル

145○汎意、偶合（語ノ連絡）

（売声）

○「イハシ」ト云フ声ノ後ニ「フルイ」売ノ来ルトキハ「古ルイハシ」トナリテ買フ人ナシ若シ

其後ニ「カネ」売ノ来ルトキハ「イハシフルカ

ネー」トナリテ新キイハシトナル

○緒ト橙ト笠ト柿ヲ一度ニ売リタルモノアリ其売

声「親代々瘡カキ」トナル

146○頓智（汎意）

一休和尚或ル日人ノ家ヲ尋ント欲セシニ此はし通ルヘカラスト云フ掛札アリ然ルニ一休カマラス之ヲ通り去リテ曰ク端通ルヘカラストアルカラ中央ヲ通りタルナリト云ハレタリ

147○文字ノ部（汎意）

九十九ヲ白ノ字ヲ用ヒテアラハス其訳ハ百ヨリ一ヲ引キ去リタルモノナレハナリ

上方ニ九十九^{ツクモ}村ト称スル一村アリ之ヲ白村ト書キテつくもむらト云フナリ

148○連想（論理及心理）

小生或ル人ノ名ヲ酒井ト記憶シタル様ニ思ヒ其人ヲ尋ネタルニ本多ト云フ人ナリ是レ四天王ノ連想ヨリ生シタルモノナリ

149 ○略意

人ニ向フテ硯ヲ持チ来レト云ヘハ紙毛筆毛墨モ含
有スルナリ烟草盆ト称スルモ亦然リ

150 ○連想（心理、論理）

孔子ノ子ヲ尋ネタルニ或人鱸ナリト答ヘリ蓋シ鱸
ト鯉ハ同種類ナルニヨル

151 ○習慣 □

人ノ住居ヲ転シタルトキハ手紙ニ番地ヲカクニ以
前ノ番地ヲ誤リテカクノ風アリ

152 ○論理ノ汎意（アナロジー）

日曜ト休□ノ相合スルヲ日蝕ト云フ

153 ○人ノ学力ト恣慾トノ関係

或ル人ノ実験ニヨルニ

一 講談好キノモノ 学才上等

食物好キ 其次

芝居好 最下等ノ次キ

女郎買好 最下等

154 ○汎意（ナマリヨリ生スルモノ）

「シツノクスリ」ト云フ処ヲ「ヒツノクスリ」トカ

キタル処本郷真砂町ニアリ

155 ○同上（仙台ナマリ）

天スル地スル我スル汝スルト四知ヲヨミタルコト
アリ故ニ「シカシナカラ」ト云フ仮名ヲカクニ「ス
カシナカラ」トカクナリ

156 ○汎意（字形）

菊阪ノ湯屋ニ男湯ノ処ニ勇湯トカキテアリ

157 ○連想ヨリ生スル異名（論理）

世間ニテ帽子ノコトヲ頭ト云フ例ヘハ頭ヲ忘レタ
頭ヲ落シタ等ノ類ナリ

158 ○帰納法（論理）

御幣かつきノ云フ言葉及ヒ世間ノ俚言ハ帰納ノ初

級ナリ

159 ○連想及ヒ類似ヨリ生スル異名（論理）

栃木県下ノ那須野原ニ三島ト云フ駅アリ此駅ハ旧

県令三島君ノ建テラレタルニヨル

160 ○同称

人力車ノコトヲ単二人力ト云フ

161 ○同称(事)

汽車ニ乗ルヲ鉄道ニ乗ルト云フ

162 ○訳名ノ不規則ヨリ生スル汎意(論理)

「ニューヨーク」ヲ新約ト書キ「ウラジューストツク」ヲ浦塩此徳

163 ○習慣ニ由テ汎意ヲ生セサルコト(論理)

しうとめノコトヲしうとト云ヒやもをノコトヲやもめト云ヒ姉妹ノコトヲ兄弟ト云フ

164 ○循環ノ理(世界開闢) 仏教活論

種子ト菓実ノ順化、蒸氣ト水ノ順化 動植炭酸ノ

順化

165 ○汎意ノ例(比喩ノ部) 論理

間口ノ狭クシテ奥行ノ長キ家ヲ

鎗持ノ雪隠

又ハ鰻ノネドコ

ベラノトオシヤベリスルノヲ

油紙ニ火ガツイタヤウタ

ガサノシテオル

サツパニスマカツイテオル様

迅速ナルコト

電光ニ油サシタ様

166 ○異名

壱部銀ノ事ヲ額ト云フ

167 ○訥弁ノモノ(言語)

訥弁ノモノハ「オ」ト「ト」ノ語ヲ云フニ苦ム

168 ○論理(虚偽)

御前ハ其レヲ知ラスニ居リタノデアラウト云フニ曰ク否ト答フルハ誤リナリ其レヲ知ラサルト云フノ二否ト答ヘラル、答ナシ

169 ○汎意(比喩)

好機会ノコトヲバゲ頭ニ毛カ三本

170 ○異名

葉指又ハ酒ワカシノ勘太郎

171 ○論理 推理誤謬

本氣ニナルコトヲ道德ト云フ

本氣ニ飯ヲ食フコト及金ヲツカフコトヲ道德ニ食
ヒ使フト云フ

172 ○記憶 (心理)

長岡ノ小倉三ノ話ニ戊辰以前ニハ少々文字モ知り
タレトモ戊辰ノ大乱ノ為メニ尽ク記憶ニ失シテマ
ルデ文字ヲ忘レタリト云フ

173 ○同上

我輩共カ旅シテ帰リタルトキニハ多ク物忘レスル
ナリ

174 ○誤解 (論理)

人ガ三里ニ炙ヲスヘル三里ハ一里ヤ二里違フテモ
宜シト云ヒタレハ尻ニスヘタリト云フ
三条ノ水カヅキ

175 ○習慣 心理

広キ家ニ住スルモノハ其声高シト云フ

176 ○連想 心理

此サキニ梅林アリト云フテ人ノ渴ヲ止メタルコト
ハ総武帝ノコトナリシカ是レ連想ヨリ生スルナリ

(177は欠番)

178 ○同上

吝嗇家アリテ一人ハ塩ヲ食ノ菜ニ到シタレハ一人
大ニ驚キテ自分ハ梅干ヲ見テ菜トナスト云ヘリ

179 ○論理

子供ノ人ノ年ニ追付クヘキヲ信スルコト

180 ○同上

酒ノ一週間禁スルヲ願フテ半日ツ、二週間トナシ
タルコト

181 ○同上 ませかへす

書ヲかくものハ書家ナレハ酒ヲ飲ムモノハ飲家馬
ニ乗ルモノハ馬家ナリ

182 ○略言

東西く

183 ○子供ニ言フ言葉

子供ニハ幾日立ツトハ云ハス幾日ねると云フナリ

184 ○字形ノ汎意

観音之音トハザツトかくと七百六ヶ敷かくと六百

なりト云フ

185○作り字

實は「マ、字」ナリ何者実ノ母ナケレハ也

186○

或和尚カ梅毒ニカ、リ鼻ヲ害シ談話スルトキニ「タ」ノ音ヲ出スコト能ハスシテ「ワ」ノ音ヲ出ス也或日其弟子ニ「ナモカラタンノウ」ト云フテ御経ヲ教ヘントスルニ「タンノウ」ト云フコトガデキヌユヘ「ワンノウ」ノト云ヒタレハ其弟子ハ之ニナラヒ又「ワンノウ」ノト云フ然ルニ和尚ハ之ヲ叱シテ私ガ「ワンノウ」ト云フタレハトテ貴様マデ「ワンノウ」ト云フ勿レト云フケレトモ弟子ハ始メテ御経ヲ習ラフユヘ固ヨリ「タンノウ」ト読ムヘキヲ知ラサルヲ以テ矢張「ワンノウ」ノト云フ和尚益怒ルモ弟子ニハ如何トモスルコト能ハスト云ヘリ

187○汎意

髪ヲ切ルヲ頭キルト云フ

〔188は欠番〕

189○同上

屈原放タレテ

190○論理

朝起キテ御早ト云フ晚クトモ

191○習慣

人ハ自分ノ名ハ常ニカキ慣レ又見慣レテオルユヘ兎角粗ソウニカキテ人ヲシテ読ミ分ケルコト難ムサラシム

192○心理

各国ノ人カヨリテ鶏ノマネヲシタルニ皆違フタリト云ヘリ

193○心理（記憶）

旅人ノ主其客ニ物忘レサセントテ茗荷ヲ食ハシタレハ旅賃ヲ払フコトヲ忘レタリト云フ

194○論理

或人ノ妻カ其夫ニ向ヒ私ハ彼方ト兄弟デアル何者私ハ彼方ノ弟ト兄弟ナリ彼方ハ弟ト兄弟ナリ故ニ

私ト彼方ハ兄弟ナリ

195 ○心理 思想

物ハ人ノ思想ニ依テ異ナルモノナリ例令ハ月ノ大
サヲ見テ直径一尺位ト云フ者モアリ乃至三尺位ト
言フ者モアリ

196 ○同 同

人ノ醜美ハマタ人ノ思想ニヨリテ異ナルモノナリ
例之丸顔ヲ好ム者アリ瓜実顔ヲ好ム者アリ額ノ広
キヲ好ム者アリ狭キヲ好ム者アリ

197 ○同 同

人ノ醜美ハ開明ノ度ニ從テ異ナルモノナリ例之開
化人ハ顔色ノ白ヲ好ミ黒奴ハ黒色ヲ好ム

198 ○同 同

月ノ大小ハ其初メテ出ツルトキト其中天ニ掛ル時
トニ依テ異ナルナリマタ正方形ヲ四面ニ画キテ之
ヲ真直ニ見下セハ左右両辺ハ長ク上下両辺ハ短ク
見ユルモノナリ

199 ○同 感覚ノ不完全ナルコト

同上ノ例ニテモ知ラル、如ク感覚ハ人ニヨリテ異
ナリ一定シ難キモノナリ尚其外ノ例ハ目ノ試験ニ
ヨリテ見ルヘシ

200 ○同 思想ノ不完全

子供ニハ月日長ク大人ニハ月日短シ是レ子供ハ行
ク先長キユヘ月日ニ安ンジ大人ハ行末短キユヘ月
日ニ急クニヨル

201 ○同論理

南北両極ノ極点ニ至ルトキハ幾許ノ方角アリヤト
問ハレタルコトアリ其時人々種々ノ答ヲナシタリ
ト云フ然レトモ真ノ答ヲ為シタル者千百人中ニ一
二人ナリシト云フ真ノ方角ハ北極ニテハ南一方南
極ニテハ北一方ナリ

202 ○論理 汎意省略

撲レ相及ヒ芝居ナドニテ見物人ニ向ヒ東西ノト
云フコトアリ是レ東西南北ノ四方ノ人ニ呼ヒカク
ル略称ナリ

203 ○同 (言語) 汎意

老寄ハ迷フユヘ八十八ニシカケテ迷ト云フ忠ハ口
ト心ト一致シテ違ハサルヲ義トスルヲ以テ口ト心
ノ間ニ釘ヲ打チタルナリ

204 ○論理

子供ハ植木ニ於ケル朝露ヲ見テ植木ガ汗ヲカクト
云ヒ野蠻人ハ朝露ヲ呼ヒテ星ノ唾ト云ヒ鵞ハ鶏ノ
鳴クヲ見テ欠スルト云フ子供ガ躓テ柱ニ頭ヲ打ツ
トキハ自ラ柱ヲ打テ仇ヲ報ユルカ如ク満足スルナ
リ又蓮葉ノ露ハ蛙ノ小便ト云フモノアリ

205 ○同 誤謬

韓退之ハ鬣アルモノ其馬ナルヲ知り角アルモノ其
牛ナルヲ知ルト云ハレタレトモ独り馬ニ鬣アルニ
非ス獅子羚羊等皆鬣ヲ持テリ独り牛ニ角アルニ非
ス牛ノ外ニ犀鹿等皆角ヲ持テリ

206 ○言語 (起源)

燈器かんでらト云フモノアリ是レ英語ニ燭台ヲか
んどるト云フ語ヨリ起ル煙草ハ米國ノ地名ヨリ起
リかすてらハ「スペイン」ノ都名ヨリ起リかるた

モ亦「スペイン」語ヨリ伝ハルト云フ

207 ○心理 心身關係

昔ヨリ高キ処ニ登リテ頭髮ノ白クナリタル人アリ
悲キコトアリテ一夜ノ中ニ白髮ニナリタル人アリ

208 ○教育

芝居役者カ流涕シ度時ハ容易ク流涕シ冷笑シタキ
トキハ容易ク冷笑スルハ習慣ニヨル

209 又女役者ハ平日ノ行儀皆女子同様ニ到スト云フハ

教育ノ影響ヲ知ルヘシ

210 ○心理 連想

或ル者相撲ト云フ字ハ國名ノ相模ト云フ字ニ似テ
オルコトヲ記憶シテオリ一日相撲ト云フ字ヲ書ク
ニ知ラスノ模撲トカキタリ

211 ○心理 (連想習慣) (遺伝)

靈魂ナキヲ信スル人ニテ谷中天王子ヲ夜行經過ス
レハ氣味悪ク思フナリ

212 ○妖怪呪言

□山葉山羽黒ノ権現并ニ豊川大明神あとさき言は

ずにはくぼんだお釜の神様

213 ○汎意 論理

或ル儒者カ赤壁ノ賦ヲ読ミシトキ盜賊前ニアリ儒

者曰ク前ノ赤壁ノ賊ト盜賊驚キテ去ル昼夜ニ到ル

又曰ク後ノ赤壁ノ賊ト又去ル

214 ○汎意

関子騫 鬢四間 邦畿千里 帚木五里

215 ○汎意

風俗ハ人芸ヲ風流レテハ人芸ス（漢字訓音ノコト

216 ○汎意

蓮会 青坊主同人 法趣 文カク 燼

217 ○汎意 狂歌

向嶋風ヲ引キタカ花だらけ

218 ○狂歌

野遊

田楽の木の芽に腹もはるの野や

霞の布をまるめてそろふ

花

しら雲かなにそと人のとふならハ

こたへてわらへ花のくちひる

花の香をおしみてけふも着かへぬを

あはせもたぬとひとやミるらん

かたひらを人におくるとて

一足をふたつにたちて君かため

かたひらをこそまいらするなれ

七夕

盆前にたれかハかねをかきゝきの

はした錢でもほし合の空

秋の夜の長きにはらのさひしさハ

たゞぐふくと虫のねそする

月前の碁 比喻

月しろに雲の黒石うちはれて

空一めんのぼんのさやけさ

虱百首寄の中に

くふたひに尻をもみちのあか虱

かけハのこらす色つきにけり

219 ○汎意 余□

山居してのむへきものを濁りさけとて

浮世ニ住む身てもなし一ふるあめりかに

御菓子ヲおかしミトかきた所アリ

雪ニ清メルノ訓

比喩、暮時、蟻附、席巻、蜂起

難波津ニ芍薬花冬こもり今ヲ云ひ

蛎蠣蚪蜥 鷹心アリテ鳥ヲ取り

士心アリテ言テ 池水ナクシテ人ヲ入ル

草化シテ土ト成ル(花城)

女子モ亦大好楽

咽ヲ咽ムセフト云フ

木爪

いせしも□

明が正か

□□□

麤 俗 鹿一 麥 俗 麦

賢古文

佐倉、桜カス 春

仙台ツとちノ(天地)

人間万事晦日やみノ立せ

□たら銭

220 ○論理 推理

つまらん つまる

221 ○論理、推理 (まじない)

「インキ」ノ衣類ニツキタルトキハ(酒宴場)ノ三

字ヲカキテ洗濯盥ノ中ニ入レオクトキハ必スオチ

ル也

222 ○汎意重言

重言

赤イ緋ぢりめん

磨

半藤三 hand some

露ヲタニ厭フやまとの女郎花

ふるあめりかに袖ハぬらさじ

河豚ヲ鉄炮 文かく踏かく

畑株ト幡

太公望ノ賛 (か死キズ) 瓜ニツノ様タ

223 ○狂歌 三ノツミキ

九月尽 比喩

秋もはやけふ一日にせんしつめ

空も渋茶のけむに寒けし

百首寄の中に初冬論理

いつはりのある世なりけり神無月

貧乏神ハ身をもはなれぬ

貧家雲

しら雪のふる借錢の年つもり

はらの天家も横にねにけり

歳暮

とれハ又とるほとそのゆく年を

くれに〜と思ふおろかさ

借金も今はつゝちにつゝまれす

やふれかふれのふんとしの暮

まつ春の宵一刻の千金を

すこしかりたき年のくれ哉

借錢の山路ハよしや鳥の音を

まねてもゆかぬ年の関哉

ひんぼうのほうが次第に長くなり

ふりまはされぬ年のくれ哉

辞世

あなきたな金ハみなみのひかしれて

西よりほかににけ所なし

224 ○論理 (言行不応)

医者ノ不養生、こんやの白着

225 ○論理 (不合)

諺語ノ論理ニ合セサルモノ甚タ多シ

諺語集ヲ
ミルヘシ

226 ○論理 (数理上推理) (勢力保存)

大男惣身ニ智慧カマハリカネ

227 ○汎意遺拾

仕立屋カみしんトにしん^魚ヲ間違タルコトアリ

228 ○論理、推理 (まじない)

(a) 目ニ物質ノ出来キタル時ハ人ヨリ其目前ニテ糸ヲ

以テ結フ真似ヲスレハ治スルト云フ

(b) 出血シタルトキニ其場処ヲ指ニテシツカリト抑ヘテ「父と母との境なり血の道とまれ血の神なり」

ト三回口中ニテ繰返セハ宜キナリ

(c) しやくりヲ止めるましない

法性寺入道前関白大政大臣トいつたら腹ヲ立ツたから是レから法性寺入道前関白大政大臣様といハふのし法性寺入道□□ト生氣ヲつかすに三辺言ふヘシ

(d) 胸ニ御飯ノツカヘルトキハ左ノ壁ヲにらむトヨロ

シイト云ヘリ

(e) 喉ニ骨ノタ、ルトキハ象牙ニテ喉ヲ撫デルト宜イト云フ

(f) 犬ノ人ニ向フテ吠ヘカ、リタルトキ之ヲ避ケシム

ルマジナヒ

寅伏セト申スコトニテ五本ノ指ノ第一ノ親指ヲ

伏セテ之ヲ犬ト呼ビ其次ノ人指指ヲ亥ト呼ヒ

ツ、親指ノ上ニ伏セ次ニ中指ヲ子トシ薬指ヲ丑

トシ小指ヲ寅トシテ順次伏セテ其小指ノ端ニテ

先キニ伏セタル親指ノ頭ヲ抑ヘルナリ然ルトキハ向フヨリ来リタル犬必ス脇道ヘ避クルナリ

229 ○ 汎意遺拾

漢字ニハ吳音漢音ノ二種アリテ一字ニシテ二様ノ

音ヲ有スルヨリ汎意ヲ生スルナリ

其外清音トカ唐音トカ日本ナラハ俗音トカ雅音ト

カ云ヒテ汎意汎意ヲ生スルナリ

230 ○ 純正哲学

無名指ハ無名ニシテ無名ト云フ名アリ

231 ○ 論理 推理

無名指ハ無名ト云フ名アリ故ニ無名指ハ有名指ナ

リ他語ニテ云フヘハ

無名指ハ無名指ニアラス也

232 ○ 論理 汎意及推理

難有ト云フコトヲ洒落レテ

蟻カ鯛ナラみ、つハうなきト云フケレトモ

是レ小ノ大ニ於ケルハ大ノ小ニ於ケルカ如シ

故ニ之ヲ正シテ

蟻カ鯛ナラ芋虫ハ鯨魚

232 ○汎意 遺拾

音ヲ俗ニテ読違ヘルコトアリ

喩ヘハ郵便ヲしびん 京教

ヘキ 避

233 ○汎意遺拾

ハンド物ハンド水 hand物hand水

234 ○同上

髪ヲ刈テ来タト紙ヲ買テ来タト同様

235 ○論理 (ゑん起) (汎意) (第三ノ百十ヲ見ルヘシ)

巾着切ノ仲間ニハ縁起祝ヲスルコト甚ク朝ニ其日

ノ縁起キトシテ悪ケレハ其日ハ出テス又言葉ノ縁

起ト云フコトアリ

猿ト云フコトヲ甚タ悪ムト云フ

案スルニ猿ハ去ルト同音ナル故カ

猿ノコトヲ以テ云フ猿楽町ハ以テ楽町ト云フ

236 ○マシナヒ (呪ヒ) (論理心理)

烟草ニ火ノツキノ悪キトキハ其烟管ノ中央ニ唾ヲ

付クルヲ例トス然ルトキハ火ノツキヨシト云フ

237 ○同上 (第三ノ百ハヲ見ヨ) (論理汎意)

頭ニおでき 俗ニクサト云フモノノ出来タル節ハ其でき物上ニ

馬ト云フ字ヲ三字重ネテ手ニテ書クトキハ (蠱)

治スルト云フ是レハ馬ハ草ヲ喰フノ意味ヨリ出テ

タルナリ

238 ○同上 (俗説)

蜂ニサ、レタルトキハ地ノ上ニアル石ヲヒクリカ

ヘセハヨシト云フ

239 ○同上

足ニ豆ノ出来タル時ハ其方ヲ教ヘタル人ノ名ヲ言

ヒツ、三辺推ストキハ愈ルト云フ例ヘハ私ヨリ其

方ヲ聞キタルトキハ円了々々ト三辺呼ツ、推スナ

リ

240 ○同上

信州ノ或ル寺ニ地中ニ穴アリ人ノまむしニカマレ

タルモノ其手ヲ以穴中ニ入レ和尚ヲシ呪文ヲ誦セ

シムルトキハ愈ルト云フ

241○医方（俗医マジナヒ）（三篇百七ヲ見ルヘシ）

まむしニカマレタル時ハ柿ヲツケルヲヨシト云フ

柿ノ実カ渋カ若クハ柿ノ皮ノ汁ニテ宜シト云フ

242○同上

海老ニ当リタルトキハ紫蘇ヲ食スレハヨシト云フ

243○同上

蜂ニサ、レタルトキハ齒クソヲヌリツクレハヨシ

ト云フ

244○同上

草鞋ノ紐ニテ足ヲ害スルトキハ其損所ニ藁ワラヲ焼テ

其焼ガラヲ飯拉（アヤ）ニテ練リテ用フレハヨシト云フ

245○俗説（学説ニ暗合スルコト）

百姓カ田圃ニアリテ大雷ニ遇フトキハ鋤ヲ立テ、

祈ルト云フ又家ノ角ニ鎌ヲ立ツルモノナリ是レ皆

避雷柱ノ代用ヲナスモノナリト云フ

246○人相

目ヲ閉チテ話スモノハ虚言者ナリ黒目ヲ上ニシテ

白目ヲ下ニ出スモノハ邪氣アルモノナリ下目ヲツ

カフテ見ルモノハ高慢家ナリ鼻ノ高ク衝出タルモ

ノモ亦然リ

247○推論

俗人ハ電線ノ風ニ鳴ルヲキ、テ電信ノ通スル音ナ

リト云フ

248○自然（アヤ）陶汰

豆州熱海道ノ牛ハ鈴ヲツケテ行ク是レ行人ニ牛ノ

来ルヲ告クル為メナリ又都会ニハ人力車ニ鈴ヲツ

クルモノアリ是レ同一理ヨリ起ルモノナリ

249○金言（秘藏宝鑰）

生々々々暗生始、死々々々冥死終（弘法）

250○金言（同書中）

禿樹定メテ禿ナルニアラス春ニ遇ヘハ則榮フ増水

何ソ必スシモ氷ナラン夏ニ入ルトキハ則チ□リ

251○論理（推論）

小田原ヨリ熱海ニ行ク際人車夫水面ニ波色ノ異ナ

ル所アルヲ見テ論シテ曰ク一人ハ潮ノ差引ノ加減

ナリト云ヒ一人ハ雲ノ色ナリト云ヒ一人ハ日光ノ

加減ナリト云フ

252 ○ト筮 (俗説)

暗燈ノ火ノ丁ニヨリテ天氣ヲ知ルコト丁ノ多キト

キハ翌日ノ天氣悪シト云フ

253 ○異名考 (汎意)

足ヤ手ヲトスリテ突出シタルモノヲ豆ト云フハ形ニ

ヨリテ名クルモノナリ

254 ○同上

暗燈ノ心ノ先キニ生スルモノヲ丁ト云フハ丁ノ字

ニ似テオル故カ

255 ○論理

越後ニテ子供カ赤キ着物ヲ着タルモノヲ見レハ娘

ニナリタト云フオラ母ハ今日ハ娘ニナリタト云フ

ナリ

256 ○社会学及道德学

魚類カ海中ヲ遊泳スルニ一二尾ニテ遊泳スルコト

ハ甚タ稀ニシテ大抵群ヲナシテ行クモノナリト云

フ

此事余熱海ニアリテ魚見台ノ老爺ニ聞ク老爺ハ台

上ニアリテ魚ノ来ルヲ見ル是レ魚カ群ヲナシテ来

ル故ニ知ルコトヲ得ルナリト云フ

257 ○自然淘汰 (進化論)

魚ハ寒クナレハ水底ヲ行キ暖ニナレハ水面ヲ行ク

ヲ常トス故ニ寒中ニ魚ヲ取ルコト難シト云フ是レ

又魚見ノ老爺ニ聞ク鱈ノ如キ寒処ニ住スルモノハ

寒中ノミ水面ニ浮フト云フ是レ皆氣候ニ從フテ衣

類ヲ換フルモノト同一ナリ鳥ノ移住モ此理ニヨル

258 ○経済学 (人情)

人ニハ数ノ頭ニノミ注意シテ其下ノ数ニ注意スル

コト甚タ稀レナリ故ニ売物ヤ木戸錢ナドニ二錢ト

スヘキ所ハ一錢八厘トカ九厘トカシ拾錢ノモノハ

九錢壹円ノモノハ九十五錢トスルナリ壹円ト云ヘ

ハ高ク思ヒ九十五錢ト云ヘハ安シト思フハ人情ノ

常ナリ

或ハ又見物ナトニハ木戸錢ヲ安クシテ其木戸内ニ

不足カ色々ノ物ヲ設ケテ賃錢ヲ取ルコトアリ是レ

又客ヲ引クノ手段ニシテ寄席ナトニテ木戸錢ヨリノ席ノ諸費却テ高シ又淺草ノ新設ノ富士山其他見物ニテ知ルヘシ蓋シ人ハ初メ安ケレハ後ヲ算セス是ニツイテ人ノ愚ナルヲ知ルヘシ

259 ○汎意遺拾

一倍ノコトヲ二倍トモ云フハ汎意ナリ

260 ○同上

百人首ヲ百人一首ト云フハ百人カ各一首ツ、ヨミタルニヨルト云フモ汎意ヲ免レズ

261 ○世態（人情）

子ノ生レタルトキハ女ノ子カト云フテ問フモノナリト云フ

何者ハ女子ノ処ハ男ノ子カト云フテ問フハ失礼ノ

コトナレハナリ

262 ○異名（汎意）

二満三平トハ面福ノ異名ニテ面福ハ兩頬満チテ額

ハ鼻トあごハ平ナリ

263 ○異名同上

笑フタツヲあき棚ノ恵比須ト云フ

264 ○同上

越後ニテ天氣ノ極吉キトキハ猿ノ子ヲ産ム様ナ天氣ト云フ

265 ○汎意（基客ノ用語）（往復ノ結果規則）

其手ハ桑名ノ焼蛤

又負けた孫と親父の角力かな

石飛て其基（マキ）に勝つことなし

初王手目の薬

へボ将基王（マキ）より飛車を大事がる

へたの考へ休むに似たり

おか目八目

一文おしみの百しらず

桂馬の高上り負け将基（マキ）

歩ばかり山の杜鵑

此二手アラフテウズ鉢

266 ○遊戯の種類

一、腕押し

- 二、指角力
- 三、枕引
- 四、枕落シ
- 五、手拭引腕ニテ
- 六、同上指ニテ
- 七、基盤上げ手ニテ
- 八、首引
- 九、額押し
- 十、足角力
- 十一、坐角力
- 十二、シヤチホコ立ち
- 十三、シヤチホコ歩行
- 十四、膝行
- 十五、腕行両手ヲ股間ニハサミ足ト腎ヲ上ゲテ
- 十六、すね押し
- 十七、しつぺ。
- 十八、棒押し
- 十九、三尺角力三尺離レテ互ニ相こだかまり手ニテ争フコト

- 二十、膝歩行ニテ戸障子ヲなめる事
- 廿一、片手ヲ股間ニ挟テ三返回テ前ニ進ムコト
- 廿二、仰臥シテ他ノ助ナクシテ起キルコト
- 廿三、おきやがりこぼし
- 廿四、仰臥シテ首ヲ挙ケテせんへいヲ食フコト
- 廿五、山越し人ヲシテ其前ニ屈立シ自ラ其背ヨリ飛ヒ越スコト
- 廿六、手ヲ首へ廻ハシテ耳ニ触ル、コト
- 廿七、指ヲ組ム法
- 廿八、手ノ小指ト人指指ヲ背面ニテ合スルコト
- 廿九、小指ト人指々ノ前端ニ煙管ヲ置テ中間ノ二指ヲ通スコト
- 卅、煙管ノ首ヲ指ニ掛ケテ回ハスコト
- 卅一、煙管ヲ指端ニテ回ハスコト
- 卅二、煙管ノ烟ヲ鼻ヨリ飲テ口ヨリ出タスコト
- 卅三、烟ヲ輪ノ形ニシテ出タスコト
- 卅四、かんしんよりヲ口ヨリ鼻へ通スコト
- 卅五、口ふえヲならすコト
- 卅六、腋わきの下ニ手を入レテならす事

- 世七、口へ指ヲ入レテならず事
 世八、うつし画
 世九、早しゃべり (274)
 同上
 一、首ぎり紐ニテ
 二、指ぎり
 三、腕ぎり
 四、脚ぎり
 五、穴ヲ通ス法穴ハ紐ニテ
 六、紐ノ結目ヲ解ク法
 七、草履ノはなをヲ紐ニテ結ヒタルヲ解ク法
 八、茶碗ニ水ヲ盛テ手拭ヲ掛テ顛ニスルコト
 九、菓子ヲなけあけて口にて受取る事
 十、マ基石を両手ニ取りテ移し換へる事
 十一、マ将基のこまを積む事
 十二、マ将基のこまを横積で橋と為る事
 十三、マ基石を積み上げる事
 十四、マ将基マ仕し

268 ○同上

- 十五、はじきマ将基
 十六、はさみマ将基
 十七、天狗マ将基
 十八、殿様マ将基
 十九、佐渡マ将基
 二十、王のこまマぜめ王一枚を総こまにてせめる事但王ハ盤中を自互ニ行クコト
 廿一、五目ならべ
 廿二、目マ基、廿三、連マ基
 廿四、廻りマ将基
 廿五、追マ将基将基盤の一隅ニ位置を取り王ごまをふり其向方ニ依テ数を計ヘ盤の周囲を廻る事
 廿六、両換マ将基金三枚をふり其向方ニ値を定め他のこまにも値を定めて両換する事
 廿七、
 一、火渡し首字つき
 二、しりとり尾字つき
 三、部類つき
 四、字つなぎ永の字を題に出して其辺又ハ傍をつぎて他の字を作る事
 五、てんぐマ俳偈

六、同上詩又ハ歌

七、かるた遊び

八、雷

九、目かくし

十、茶坊主

十一、舞踊

十二、唱歌

十三、子をとろく

十四、鬼事洋和

十五、かくれんぼう

十六、物かくし

十七、手まり

十八、羽根

十九、クロツケー

廿、玉つき

廿一、旗うばひ

廿二、つなひき

廿三、こま遊び

廿四、紙鳶

廿五、源氏

269 ○論理 (推理)

加州ノ者ニテ人ニ語リテ曰ク東京ノ市中ハ四里四方、金沢ハ二里四里方ナレハ金沢ハ東京ノ半分ナリト (金沢ハ四分ノ一ナルヲ知ラス)

270 ○同上

或ル者願懸シテ二週間酒ヲ絶ツコトヲ誓フ再ヒ誓ヲ改メテ二週間絶酒ノ比例ヲ取り半日ツ、禁酒シテ四週間ニセンコトヲ願フ最后ニ又誓ヲ改メテ禁酒ノ時日ヲ一倍シテ半日酒ヲ呑ムコトヲ得ルナラハ四週間ヲ八週間ニシテ毎日呑ムコトニシタリト云フ

271 ○マシナヒ (妖術)

真言ニテ火渡リスルニハ指ヲ以テ指ヲオサヘルノ印号ヲ用フルナリ

例ヘハ五指ヲ木火土金水ノ五行ニ配当シ親指ヲ木トシ人指ヲ火トシ次第二及ホシテ小指ヲ水ト

ス故ニ一方ノ小指ヲ以テ他方ノ人指ヲ庄スルノ
象ヲ示シテ水ヲ以テ火ヲ庄ストナシ以テ火ヲ渡
レハ焦スルコトナシト云フ

272○汎意(英語ノしゃれ)

昼ナレハ有ルデー。モアラウガ夜ニナレハナイト。

273○同上(俗語)

東京其他ニテ寒イコトヲさぶいと云フ

274○早しゃべり(語) (296三十九ヲ見ルヘシ)

(第一)カヘルピュコ〜三ピュコ〜合セテ
ピュコ〜六ピュコ〜

(第二)ミ、ズミユロ〜三ミユロ〜合セテ
ミユロ〜六ミユロ〜

(第三)隣リノ客ハヨク柿ヲ食フ客ダ

275○汎意(同音)

十返舎一九ハ小字幾五郎ナリシカ幾ト一九ト音相

同キヲ以テ一九ト云フニ至ルナリ

276○同上(意義)

酒ヲ禁スルコトヲ神ニ願テ願酒ト云フ併シ直チニ其字

ヲ解スレハ酒ヲ願フコトニナルヘシ

277○小児ノ成長(此件ハ二月三日記之)

玄一ハ明治廿年九月二十八日午前第八時東京本郷

西片町拾番地ノ宅ニ生ル同年十二月廿日東京ヲ発

シテ豆州熱海ニ来リテ年ヲ越ユ

十二月十六日浅草公園内江崎写真処ニ於テ写真ヲ

取ル其外宅外ニ出テタルコトナシ

生レテ五十日前後ニ笑ヲ発ス而シテ声ヲ発シテ笑

ヲ発セシハ百日前後ナリ

十一月末ニ至リテ寒冒(マユ)ニカ、リ咳嗽ヲ発シ熱海ニ

至リテ直チニ愈ユ熱海ニアリテ一月十四日寒晴ニ

際シテ母子同道日金十国五嶋嶺ニ上ル帰リテ亦寒

冒ニカ、リ咳嗽頻リニ起リ啖クダニ苦ムコト凡ソ一週

間ニシテ稍、憔悴ノ状ヲ呈ス二週間ヲ経テ全ク愈

ユ

一ヶ月位ニシテ夢ヲ結フノ状アリ夢中俄カニ驚起

(夢)シテ呼叫シ或ハ乳ヲ吸フノ状ヲナス是レ蓋シ反射

的ノ夢ナラン

二ヶ月位ニシテ稍、母親ヲ知ルカ如キ状ヲ呈ス蓋シ弁別力ノ初期ナリ

百日以後ニ至テハ人ヲ弁別記憶スルノ力発達シテ母親ハ勿論父親子守ヲ弁別シ子守ノ居ラサル時ハ泣キテ子守ヲ呼フノ状ヲ見ル

小児ノ笑フハ其初反射ニシテ之ニ対スルモノ笑ヘハ則チ笑フ然ルニ其後ニ至リテハ(百日以後)之ニ対シテ異客ノ畏ロシキ顔色ヲ呈スレハオノツカラ不快ノ顔色ヲナス

百日以後ニハ手ニ物ヲ握リテ口ニ入レントスルノ作用ヲ生ス

未タ百日ニ達セサル時即チ二ヶ月位ノ時入浴ノ節衣ヲ脱セントスルニ紐ニテモ其手ニ触ル、モノヲ固ク握リテ離サ、ルコト度々アリキ

未タ百日ニ達セサルニ已ニ同類ヲ求ムルノ情アリテ夜中ニテ目ヲ覺シ其目前ニ人ヲ見サルトキハ忽チ泣キ母ノ在ルヲ見レハ又安ンジテ眠ニ就ク此同類相求ノ情ハ七八十日頃ニ已ニアリシヲ見ル

自然ニ療方ヲ知ルコト〇一月末(百二十日頃)耳辺ニカユキ処アレハ自然ニ首ヲメグラシテ衣ニテカ、ントスルノ状アリ又目ノ辺ニカユキ処アリタレハ子守ノ背ニアリテ頻リニ子守ノ背ニ顔ヲツケテカ、ントスル状アリ是レ亦本能作用ニヨル

二月二日夜入浴ヲ致サシムルニ湯ニ入ルヤ俄カニ叫出シタリ是レ恐怖驚愕ヨリ生セシナリ蓋シ此頃寒冒ノ為メ久ク入浴ヲ施サ、リシニ二週間目ニテ入浴セシニヨル且ツ前回ヨリハ一層恐怖心ノ発達セシニヨルナラン其以前ハ毎夜入浴ヲ施コセシ故敢テ叫ヒタルコトナシ

百日以後ニナリテハ乳ヲ示セハ其口未タ之レニ触レサルニ口ヲ開キテ喜ノ状ヲ呈ス又子守ノ手ヨリ母ノ手ニ移レハ忽チ泣ヲ止ムルナリ

二月頃未タ他人ヲ見分ケル力ナク誰人ガ来リテモ笑ヲ呈スルナリ

乳ヲ求メテ乳ヲ与ヘントシテ乳ニ吸付ニク、アリ又ハ乳カ思フ様ニ出テサル時ニハ必ス不平ノ声ヲ

発シテ立腹ノ状ヲ呈ス

習慣力ノ影響○始メニ牛乳ヲ用ヒタレハ容易ク牛乳ヲ吞ミタリシニ一週間余リ牛乳ヲ止メテ母ノ乳ノミヲ用ヒタレハ其後牛乳ヲ飲マス○乳ヲ与フル時間ハ二三日間ノ経験ニヨリテ習慣ヲナスモノナリ二時間毎ニスレハ二時半トナリ三時間毎ニスレハ三時間トナルナリ○昼ハ朝明ケル時ヨリ起コシ夜ハ衾中ニ入レテ眠ラスル習慣ヲ起シタレハ其後自然ニ此規則ニ従フ明ルクナレハ起キルノ催促ヲナシ夜ルニナレハ臥スノ催促スルナリ而シテ昼間ハ何程臥サセントスルモ泣キテ臥スコトヲナサス○二月始頃試験ヲスルニ九尺以上離レタル人ノ顔ヲ知ルノ眼力アリ又声ノ方向ヲ知ルノ耳力アリ背後ニ立チテ其名ヲ呼ヘハ背ニ面ヲ廻ハスナリ

○目方(一月十二日即百六日目)

老貫八百七十目

內衣服目方ヲ 引

○予想○小児ノ當時ノ予想ニハ稍、強情ニシテ進

取ノ氣風アル様ニ見ユ

278○歴史(心学祖)

心学ノ元祖○寛政天明間心学ヲ江戸ニ学フモノアリ所謂心学ハ神仏儒三道ヲ混同シテ一トナスモノナリ其事中沢道ニ始マルト云フ道二名ハ義通龜屋久兵衛ト称ス京師新町ノ人ナリ道二曰ク雅ハガ〜雀ハチウ〜人ハ人ノ妙法アリ鳥ハ鳥ノ妙法アリト云フテ三教一致ヲ唱フ世ニ心学道話ト称スルモノ是レナリ寛政三年参前舎ヲ東京神田ニ建テ其門生ト講学ス門人其所説ヲ編シテ道二道話ト云フ享和三年卒寿七十九門人ニ植松自謙ナルモノアリ(譚海)

278○汎意(語音)

日光ニ戰場カ原ト云フ処アリ世人附会シテ上古神軍此ニ戦フト云フ然レ共戰場ケ原ハ千丈ケ原ハ音通ヨリ転シタルモノナラン広原ヲ千丈ケ原ト云フ

(藤野氏日光山紀勝中二)

279○長人

(東京日々新聞四千八百七十一号)

支那人名常 身長八ヒート三インチ

或ル蘓国人 十一カ 六カ

希国人長人^{オハ} 七カ 八カ

奥国人 八ヒート半

280 ○汎意(誤用)

運ハ寤テ待テ(練テ待テノ誤用ナリ)

281 ○同上

人言スレハ^{ヒトゴト}席布ケ(人言スレハ^{メシロ}目代布ケ)

282 ○明治十九年以后ノ旅行

明治十九年三月三十日東京発ニテ熱海入湯露木準

三方止宿八日立ニテ湯本温泉ニ一泊翌日東京ニ帰

ル

同年五月二十九日上州磯辺温泉ニ浴シ同村湯本方

ニ止宿六月十四日ヨリ同村三景楼ニ止宿六月末ニ

至リ高崎有志ノ招聘ニ応シ同駅ニテ教育講義ヲ開

ク七月五日上州磯辺ヨリ帰京

同年七月十九日汽船ニテ東京ヨリ直チニ熱海ニ至

ル露木ニ止宿従来ノ如シ

同地滞在九十余日ニシテ十月二十日帰京同年十二

月四日千葉ニ至リ翌日帰京明治廿年四月三日朝比

奈知泉氏ト共ニ汽車ニテ那須ニ至リ是レヨリ人力

ニテ六里塩原ノ温泉ニ遊フ同夜古町米屋ニ宿ス翌

朝雪ヲ侵シテ須^レ那ニ至リ汽車ニテ宇都宮ニ至リ

テ泊ス宿ハ手塚屋ナリ翌即五日東京ニ帰ル

同年七月十七日江嶋ニ行キ一泊恵比寿屋ナリ翌日

鎌倉ニ行キ長谷觀音前三橋ニ泊シ滞在五日二十三

日ニ至リテ帰京

同年八月十二日汽船ニテ房州北條ニ遊ヒ伊沢屋ニ

泊ス滞在七日十九日ニ至リテ帰京

同年十月十八日池上温泉ニ遊ヒ滞在一週間二十四

日帰京

同年十二月二十日熱海入泉越年

283 ○病氣年月

明治十八年十二月二十四日痔疾ノ為メ本郷大学病

院ニ入ル十九年十四日退院

十九年四月十四日切断ヲ施ス

同年五月廿日頃咽喉かたるヲ起ス

二十年二月三月ノ際三四回血咳ヲ吐クコトアリ

二十年十月二日夜咯血

284 ○俗説(規則)(通説)

育児法ニ俗人曰ク

母親カ梨柿ヲ食スレハ小兒虫ヲヤムト云ヒ

〃〃 酢ノ氣アルモノヲ食スレハ乳ヲ腐ラスト

云ヒ

〃〃 蕎麦さゝきハ乳ヲ止ムルト云ヒ

小兒ノ口ニ指ヲ入ルレハ舌ヲ荒スト云ヒ

小兒ノ口許ヲ吹ケハ啞ニナルト云フ

物ヲ近ク寄セテ見レハ近眼ニナルト云フ

285 ○俗説婦納(論理学)

小兒ハ其頭ノ周圍ニ生レテ數ヶ月間ハ髮毛稍薄クシテ輪環ヲ

ナシ其形恰モ鉢卷シタルカ如シ是レ其胎内ニアル

トキニ母親ノ腹帯シメタル痕ナリト云フ

286 ○同上

或ル田舎ニテ子ヲ生ミタルトキ其子ノ耳ニ小穴ノ

痕アリ考フルニ母親分娩ノ近キニ臨ミテ機ニ志ん

子^{之ヲ志}子^{トモ}ヲカケタリ子ノ穴ハ蓋シ此痕ナリト云フ

287 ○推理(論理学)

或ル者曰ク加州ハ寒シ雪カアル故ニ若シ雪カ解ケ

タレハ煖カラウニト云フ

一人其傍ニアリテ寒イカラ雪カ解ケサルナリ煖カ

ケレハ雪ナキ筈ナリト是レ原因結果ノ論ナリ

288 ○論理

ヨク人ノ話ニ泳キ上手ニナリタレハ泳ヲナサント

云フト同一ノコトアリ

私ハ書状ヲカクニ拙ナリ故ニ人ニ送クルコトヲ

好マス若シ巧ニナラハ書ヲ人ニ送ラント

又私ハ碁ハ至テ拙ナルユヘ打タズ若シ上手ニナ

ラハ打ツヘシト

私ハ演説ニ拙ナリ若シ上手ニナラハ毎日演説ス

ヘシト

289 ○ませかへし (論理)

ソレハツマラヌト云へハソレナラツマツタ話ヲ致シマシヤウ

ソレハ下ラヌト云へハソレナラ下ツタ虎病ノ話テモ致シマセウカ

290 ○比喩 (論理)

イヤノ顔シテオル時ハ「門^{モン}摩^マ様^ヤカ塩^シヲナメタル様」しんにうノ形容「彼ノ人ハ馬鹿ニ進^{シン}入^ニツケタ様」べん天んさまノ沙^サ磔^{ツク}ツケ

291 ○記憶連想 (心理学)

或ル書生カ Exception ノコトヲ取^{トリ}除^{ノケ}ト教ヘラレタレハ其翌日復習ノ節しやものけト読ミタリト云フ蓋シ取^{トリ}除^{ノケ}ケラしやもハ鳥ナルヲ以テ鳥ノ毛ト記セシナリ

292 ○同上 (心理学)

御一新前ニ海軍ノコトヲ学フニ付蘭学ヲスルニ其頃ノ人ハ中々蘭語ヲ記憶スルコト難ク船中ノ諸具ノ名ヲ聞クモ誰レモヨク記憶シ得ルモノナカリシ

然ルニ偶々ほつけますとト云フ字アリシニ教師一

タヒ云へハ皆々直様記憶セリト云フ是レ蓋シほつけますとハ法華ますとト云フコトニ記憶セシニ由ル

293 ○世ノ進歩

御一新ノ際ニ我国ニ渡レル洋書ハ古書ノミニテ千八百年代ノ出版ニカ、ル書物甚タ乏シカリシ由其頃^頃或^或ノ人洋書店ヲ開カント思ヒ或ル洋学者ニ尋ネタルニ洋学者曰ク洋書ヲ仕入レルニハ書物ノ表紙ノ下ニ在ル一列ノ字ノ第二番目ニ瓢^{ヒョウ}箆^{ヘイ}ノアル書物ナラ一円以上ニ買テ宜シト教ヘタリト云フ是レ他ナシ当時千七百年代ノ書多クシテ千八百年代ノ書少ナケレハ千八百年代ノ書物ハ余程高金ニ売ルコト出来タレハナリ

294 ○礼式ノ相違 (社会学)

響^{ヒキ}応^{オウ}ノ時ハ日本ニテハ主人ハ粗末ナリト自分ヨリ云ヒ西洋ニテハ自分ヨリ珍重シテ云フ
響^{ヒキ}応^{オウ}ノ後ノ礼ニ日本ニテハ当日ハ満腹酩酊セリト

云フ西洋ニテハ甚タ之ヲ嫌フ

響応ノ時食品ヲ取ルニ日本ニテハ何程遠クニアル

モ自ラ手ヲ伸ハシテ取ルヲヨシトシ西洋ニテハ隣

客ニ乞フテ取ラシムルヲヨシトス

295 ○御幣かつぎ(論理、心理学)

西洋人ハ響応宴会ノ節十三人ヲ嫌フ是レ十三人ハ

耶蘇ト十二弟ノ数ナレハナリト云フ

296 ○馬ノ智(心理学)

馬ハ其愛シタル別当来ルトキハ必ス「ヒーン」ト

鳴声ヲ発スルナリ

297 ○汎意遺拾(論理学)

仏蘭西ニテ五「フランク」ノコトヲさんフランク

ト云フ故ニ日本人ノ其地ニアルモノハ三フランク

ト誤ルコトアリ

298 ○小児ノ生長(玄一)(277ノツマキ)

二月九日目方ヲ検スルニ

式貫二百目(但衣服ノ目方共)

先月ヨリ多キコト三百三拾目

湯ニ入ル、ニ二回マテハ泣キタレトモ三回ヨリハ

泣カス是レ全ク習慣ナリ

299 ○精神作用(心理学)(妖怪)

天文学者カ天象ヲ観ルニ其大小遠近思想ニヨリテ

変スルハ精神作用ナリ

又俗人カ日月ヲ観テ其大小ヲ計ルモ亦然リ

300 ○思想ノ習慣(心理学妖怪)

人ハ死スレハ身体中ニ靈ナシト知りテ猶ホ其体ヲ

祭祀スルハ思想ノ習慣ナリ

人ハ妖怪幽霊ナシト知りテ尚ホ之ヲ恐ル、モ遺伝

習慣ナリ

301 ○同上(同上)

西洋人ハ耶蘇教非ナルヲ知ルモ尚ホ之ヲ排スルコ

トヲ厭フハ思想ノ習慣ナリ漢学者カ漢学仏者ハ仏

教ニ於ケル皆然リ

302 ○思想ノ影響(同上)

事物ノ醜美良悪ハ精神ニヨリテ変スルモノナリ

人頭ノ大ナルハ従来之ヲ厭フタルハ今日ハ却シ

テヨシトス

牛肉牛乳ハ従前ハ之ヲ食スルニ美ナリト思ハサ

リシモ今日ハ美ナリ

303 ○同上 (同上)

時様ノ変更、其時来レハ美トナルハ思想及ヒ情ニ

ヨルナラン (束髮断髮風俗皆然リ)

304 ○思想ノ習慣 (同上)

飯ハ茶碗汁ハ塗椀水ハコップ酒ハ杯ニテ飲ムノ美

ナルハ習慣ナリ

雪隠ヨリ出テ、手ヲ洗ヒ糞紙ニ反古ヲ用ヒサル等

皆習慣ナリ

305 ○同上

世ニ名人ト知ラレタル技芸遊興ヲナスモノハ何ヲ

ナスモ之ヲ聞クモノ感スルナリ是皆 Preposses-

sionノ影響ナリ

円朝、如蓮、団十郎、名医等

306 ○奇諭

秋山某曰ク旅行ヲナストキニハ必ス一瓶ノ「ブラ

ンデ」ヲ取りテ之ヲ呑ムトキニ毎ニ其呑ミタル分

量ヲ水ニテ^(V.V.)其中ニ入レテオクトキハ終リマテ其量

ノ減スルコトナク亦酒氣ノ絶フルコトナシト云フ

307 ○哲学

哲学中ニ ^(T.A.A.)theoretical ト practical ノ二種ヲ分ケテ

実用ノ中ニハ

工芸ノ哲学

農商ノ〳〳

遊技ノ〳〳

政治ノ〳〳

医術ノ〳〳

戦争ノ〳〳

裁判ノ〳〳

ノ諸科ヲ

設クヘキコト

308 ○汎意遺拾

大阪ニ至リテゆヲ持チ来レト云ヘハ湯ノ代リニ柚

ヲ持チ来ルナリ

309 ○無神論

耶蘓教者曰ク神ハ不用ノモノヲ作ラスト

余以為ク神ハ不用ノモノヲ作り之ヲ軋シテ用トナ
スモノナリ

或ル者金玉ノ大ナルモノアリ佐藤病院ニテ切断
シタルコトアリ其大サ非常ニシテ其人ハ平常机
ノ代リニ用ヒ又ハ膳ノ代リニ用ヒタルナリ当人
ハ風呂敷二枚ヲ用ヒ一枚ハ食事ノ節金ヲ覆ヒ以
テ膳ニ代ヘ一枚ハ読書筆作ノ節ニ金ヲ覆ヒ机ニ
代ヘタリト云フ凡テ物ノ人ノ用ヲナスハ皆此類
ナリ

310 ○順応伝染（教育心理学）

人ノ名ハ教育順応ノ一助ト為ルモノナリ例ヘハ豪
傑ノ名ノ有スレハ其人其名ヲ思フ毎ニ連想ノ力ニ
由テ豪傑ノ思想ヲ起シオノツカラ豪傑ノ氣風ヲ養
ヒ自然ニ豪傑トナルノ傾ヲ生スルナリ是レ恰モ人
ニ絶ヘス古来ノ豪傑ノ歴史ヲ話シ豪傑トナルヘキ
教育ヲ与ヘテ其人ヲ豪傑ニスルト同一ノ功力ヲ有
スルモノナリ即チ中村正直、矢野文雄、榎本武揚、
谷干城等ノ如シ然レトモ是等ノ人ノ名ハ成長シタ

ル後ニ与フルモノナレハ信許シ難シト雖人ニ生来
ヨリ有スル所ノ名ニ等シキ人ト為ルモノ世間少シ
トセス故ニ子ニ其名ヲ撰ンテ之ニ与フルハ教育ノ
第一要法ナリ

311 ○同上

古来ノ例ニ南朝ノ人ハ正成、正行、義貞ノ如キ至
テ忠義ヲシキ名ナリ北朝ノ尊氏、義満等ハ高讓（トモユキ）ヲ
シキ名ナリ支那ニ蘇老泉カ二子ニ名ツクル説ニ軼
ト軼トノ字ヲ用ヒタレハ果シテ其字ノ如クナリシ
ト是レ一ハ其人ノ連想ヲ起シ其名ト同一ノ思想ヲ
懷カシムルニヨリ一ハ親モ之ヲ教育スルニ其名ニ
意ヲ用フルニヨル一ハ外人カ其名ト実トヲ結合ス
ルニヨル又其名ノ意味ヲ種々ニ転用シテ強テ其実
ニ合セシメントスルコトナキニ非ス下等社会ニテ
態トカ勇トカ虎トカ其名ヲ撰ムハ皆此順応教育ノ
理ニ基クナリ又古代ノ豪傑ノ名ヲトリ或ハ師匠ノ
名ヲトルカ如キモ同一理ナリ西洋ニテモ「ペー
ト」トカ「アレキサンドル」トカ云フ名ハ豪傑ノ

名ニテ其名ヲ人ニ与フルハ又此教育ノ理ニ基ク
312 ○同上

実名ノミナラス苗字号系図芸名師名等皆此教育ノ
一種ナラサルハナシ例ヘハ福沢諭吉ハ苗字ニヨリ
テ福人ト為ルノ傾キアリ林ト云フ苗字アレハ学者
ノ傾キアリ源ト云ヘハ豪傑ノ傾キアリ系図モ是レ
ト同一理ニシテ吾ハ誰某ノ子孫ナリト云ヘハ自ラ
其人同等ニ為リ得ヘキ感覺ヲ引起コスナリ又其親
カ祖父母ニ名高キモノアレハ其名ニヨリテ之ト同
一ノ思想ヲ引起スナリ師匠ノ名ヲ思フモ亦然リ吾
カ師匠ハ誰某ナリト云ヘハ自ラ其人ノ性質ニ化ス
ルニ至ルナリ

313 ○同上

実名苗字ノミナラス地名国名物名事名記号等モ亦
然リ第^(マヤ)日本国ト云ヘハ何トナクエラソウナ感覺ヲ
起シ熱海ト云ヘハ何トナク熱ツソウナ感覺ヲ起シ
酒ニオイランノ名アレハ味甘カリソウナ感覺ヲ起
シ紋印カ他ノ符合ノ人ノ紋印ニ合スレハ是レト同

一ノ感覺ヲ起シ日本ノ旗印ニ日ノ丸ヲ用ヒ魯國ノ
旗印ニ鷲ヲ用フルハ其國人ヲシテ之ト同一ノ思想

ヲ起サシムルモノナリ御幣カツギガ名ニヨリテ好
キ嫌ヒヲ為スハ全ク此名実ノ連想ニヨル

314 ○精神作用(心理学)

船カ愈難船スルト定マリタルトキハ船ニ酔フ人ナ
シト云フ已ニ酔フタル者モ本氣帰ヘルト云フ

315 ○汎意遺拾(重言)

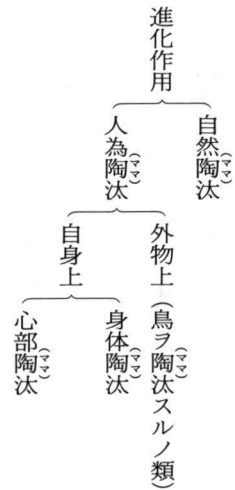
船カ難船スル 唐ノ唐人 山ヘ遊山

316 ○順応(心理学)

或る新聞ニ子供ガ狼ノ窟ニ入りテ養ハレタルモノ
アリ七八歳ノ後窟ヲ出テ、帰ヘリタルニ全ク狼ト
同一ニシテ立行スルコト能ハサルニ至レリト云フ

317 ○進化論(心理学)

人ノ記憶一定ノ分量アルヲ以テ其力ヲ節儉スルヲ
必要トス其節儉法ハ来ルヘク不用ノ事ヲ除キテ有
用ノ事ヲ記憶スルニ在リ是レ^(マヤ)淘汰ノ一種ナリ之ヲ
余ハ心部^(マヤ)淘汰ト云フ



318 ○思想順応 (胎教) (心理学)

鰻屋ノ子ニ盲目アリト云フ其故ハ毎日鰻ノ目ニ釘ヲ打チテ屠ルヲ実視スルニ由ルト云フ

319 ○同上 (賞罰ノ理)

人ハ必ス鰻屋ノ子ニ盲目アルヲ見レハ之ハ鰻ノ目ニ釘ヲ打チツケル故ニ神罰ヲ蒙フリタルモノナリト云フヘシト雖モ其理アルコトナシ是ニ由テ之ヲ推スニ鳥ヲ飼フモノハ鳥ノ形ニ似タル子ヲ産ミ犬ヲ愛シタル者ハ犬ニ似タル子ヲ産ムコトモアルヘシ然レトモ是レ決シテ天罰ニ非ス

320 ○同上 (心理学)

子供ノ女ト為リ男ト為ルハ一ハ母ノ感覺ニ由ルト云フ説アリ母カ其子ノ胎内ニ在ルトキ常ニ男ヲ思

321 ○熟練 (心理学)

ヒ常ニ男ニ接スルトキハ其子モ亦男ト為ルト云フ故ニ古来子ヲ男ニスルノマジナヒアリ其法男ニ属シタルモノヲ日夜携帯シ眠ルトキハ其布団ノ下ニ入レ置クノ法アリ例ヘ男子ノ帶フル所ノ刀劍ノ如キモノヲ云フ案スルニ男子日夜必需ノモノヲ携帯スルハ連想ノ力ニ由テ不断男子ノ思想ヲ生セシムルノ法ナルヘシ

322 ○汎意遺拾

軍人ハ經驗ニ由テ人数ノ多少ヲ一見シテ算定スルコトト山河ノ距離ヲ予定スルコトト天氣ノ模様ヲ卜定スルコトトハ他人ニ勝レリト云フ
角力ノ名ニイト記キテ仮名頭ト読ミ京ト記キテ仮名ドメト読ム

323 ○名言 (循環) (純正哲学)

物事ハスベテ循環ノ如其終リニ達スレハ又其本ニ復スルモノナリ武術ノ語ニ無てんぼう名人ノ位ト云フコトアリ名人ノ極ニ達スレハむてんぼうと同

一ナリ此事百般ノ事ニ応用スルコトヲ得

324 ○精神作用（妖怪）

或ル罪人ニ精神作用ヲ試ント欲シ命シテ曰ク汝ハ
死罪ニ当ル今人身ヨリ血尅斗ヲ取り出セハ必ス死
スト云フ試ント因テ之ヲ試ミ尅斗升式升ト乃至尅斗
ニ至レハ即チ死セリト而シテ血ハ少シモ取り出サ
ス唯、口ノミニテ数ヘタルナリ

325 ○破邪活論

一人善ヲナスモ今度地熱愈減シ太陽又然ルハ如何
一物ニ不用ノモノナシト云フハ蚊アルハ人ヲシテ戸
外ニ眠リテ風露ニ侵レン為メト云ワンカ蛇アルハ
人ヲシテ叢林中ニ入りテ身体ヲ毀損セサラシムル
為メナルカ何ソ煩ク風露ヲ設ケ又之ヲ避クルコト
ヲ設クルヤ

一太陽ハ人間ニ光ヲ与フル為メニ作りタルモノナリ
果シテ然ラハ其熱ノ減シテ暗黒ニナルノ理如何
一如何ナル野蛮人モ宗教心アリ主宰神アルヲ知ルト
云フハ目前ノ事物ニ其源因主宰アルニヨリノミ即

チ因果ノ理ナリ

一宗教ノ三大問題

第一、我何レノ所ヨリ来ル

第二、カ何レノ為メニシテ存スル

第三、カ何レノ所ニカ行ク

一宗教ハ原因論ヨリ起ル（原因ヲ究メント欲スル
念ヨリ生死ノ理起ル）

一閻龍カ西地ヲ発見シタルカ如シ

一人智ハ有限ナリト云フコト故ニ其知外ニ神アリト

云フモ神ハ人智間ニアリ

一無神論ヲ立ツルノ難キコト

無神ナラハ是位人生ニ望ナキコトナシ苦楽窮厄ニ

臨ンテ呼フヘキ天ナキナリ

無神ヲ唱フル人モ其心ニハヤハリ有神ノ思想多少

有スルナリト云フ

（然レトモ是レ妖怪ナシト云フモノ尚ホ其心ニ

妖怪ヲ恐ル、カ如シ）

人智ハ有限ナリ有限内ニ神ナキモ何ソ限外ニ神アル
ルヲ知ランヤ若シ神ナキヲ証セント欲セハ限外尽

ク知ラサルヘカラス死モ遠洋ノ孤島ニ舟ヲ寄セテ
居民ノ有無ヲ知ラント欲セハ全島ヲ知ラサルヘカ
ラサルカ如シ然ルニ有神モ又人智外ナルモ一部分
ノ影ヲ望テ知ルコトヲ得ルナリ例ヘハ全島ヲ知ラ
サルモ炊煙ヲ見テ知ルコトヲ得ルカ如シ

(余思ラク不然第一、人知ハ有限ニアラス、第二、
炊煙ヲ見テ神アルヲ知ニハ炊煙ナキトキハ神ナ
キヲ知ルヘシ又炊煙ニアラサル野火ノ煙ヲアヤ
マリテ炊煙トナスコトナキニアラス

一 有神論ノ証跡

一 第 一 拜神ハ進化ヨリ起ルニアラス

二 第 二 遺伝ヨリ生スルニアラス 果シテ然ラハ普
通ナル能ハス

一 神ノ存在

一 学問ノ結果ニヨルニ

一 天地ノ現象ハ皆始メアリシナリ

一 即チ因々相ツキヒ果々相結ンテ現出シタルモノ
ナリ

而シテ又万物ノ瓦解散スルコトモ學術ノ發見ニ
ヨリテ知りタリ

是ニ依テ對尋ヌレハ一大本原アルコトヲ知ル
(十個ノ鍊環相連結スルモ之ヲ支持スルモノナ
クハ空中ニ保持スルコト能ハサルヘシト云フモ
太陽系ノ相持スルヲ見テ其然ラサルヲ知ルヘ
シ) 開端原因

一 万物ノ妙技ヲ見テ神ノ現存ヲ知ルナリ
結果ニヨリテ原因ヲ知ルコトヲ得ヘシ

一 神ハ全能全智至仁至愛ノモノナリト云フモ敢テ有
限ノ智ヲ似テ無限ノ徳ヲセマクスルニアラスト云
フ

一 曰ク不然

一 又我レハ智力アルニヨリテ完備ノ徳ニ与カルコト
ヲ得ルモ知ル所限リアルニヨリテ不完全ナルモノ
ナリト云フモ亦不然

⊕ 神

⊕ 心

二者同大カ不同大カ

同大合一ナレハ同一ト云ハサルヘカ

ラス

心即チ神ノ云ハサルヘカラス神心ヨリ小ナルトキハ誰レカ神ノ存スルヲ知ルヤ

一 天地万物ノ原因ハ唯物ナリト唯物論者唱フルモ物質ハ現象ニシテ変化スルモノナリ現象変化スレハ

其体ノナル物体モ亦変化セサルヲエス、然ルニ變化中ニ不變ノモノアルハ何ソヤ是レ物質ニアラサルコト明カナリト云フ

然レトモ不然 變化ハ物質ノ形ニアリテ実体ニアラス分子ハ同一ナリ

又變化スルノ理ハ變化セサルコトアリ

物質ハタトヒ其變化究ラサルモ之ヲ無始ナリト云フ理ナシ若シ其始メ純一ナラハ運動ヲ生スヘキ理ナシト云フモ不然

純一的ノ運動アルハ其原因別ニナカルヘカラスト云フモ不然

又進化モ平称点ニ達スレハ極点アリト云フ然ルトキハ無始アルヘシト云フモ是レ亦誤リ

又物質ノ外ニ勢力アリ勢力ハ物質ヨリ来ルト云フトキハ物質ハ之ヲ生スヘキ力ナクシテ之ヲ生スト云フコトニ同シ物力二者ヲ無始トスルトキハ二者ノ大原因タル天帝ヲ想セサルヘカラス

又分子ハ勢力ヲ固有シテ運動スルモノトスルトキハ分子ハ独り立チテ運動スルコト能ハス相待チテ運動スル以上ハ必ス全体ノ運動ノ原因トナルモノアルヘシト云フモ不然

唯物論ハ生命ヲ解説スヘカラス

○不片ノ雷斧トナルハ其形已ニ其者トナルヘキ定マリアレハナリト云フ即其目的ナレハナリト云フ然ラハ何故ニ直チニ其形ヲ現セサルヤ

○人体中胃腑ノ如キハ肉類ヲ消化シテ自体ヲ消化セサルハ何ソヤ

是レ自然(Natura)淘汰ナリ

五官肉臟皆適合シテ其目的ヲ達スルハ此ノ如ク乎

メ定メタル源因アルニヨルト云フモ不然

若シ然ラハ何故二人獣ノ別ヲシテ判然タラシメサルヤ

○スヘテ人類其他ハ互ニ相助ケテ一定ノ目的ヲ達スルノ傾向アリ若シ諸因各難レテ働キ一定ノ目的ナクハ決シテ此ノ如キ結果ヲ生スヘカラスト云フモ不然

〔欄外〕是レ一日一時ニ無機ノ有機ニ化スヘシト見ルノ僻見ニヨル

一有機ハ無智盲目ノ天地ヨリ成ルトスルトキハ何故

ニ今日ニ有機ノ發生ナキヤ曰ク不然

一無神論ハ造化ノ目的ナキヲ唱フルニ何ソ目的ナキ

モノ、中二目的アル人類ヲ生スルヤ無智ヨリ有智

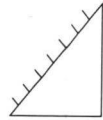
ヲ生スルコト能ハス無目的ヨリ有目的ヲ生スルコ

ト能ハスト

是レ智ト無智ヲ別ニシ目的アルモノト目的ナキ

モノヲ別ニスルノ僻見ヨリ生ス其間判然タル別

ナキナリ此ノ如シ



万物ノ生スルハ其千差万別ノ運動ノ際不図奇遇ニヨリテ僥倖ナル暗合ヲ来ストスルトキハ人類モ脳髓モ皆奇遇ニヨリテ成ルト云ハサルヘカラス好詩好文皆奇遇ニナルト云フヘキヤ

曰ク然ラス物質分子ハ永久間ノ順次ヲ經テ人類ヲナスナリ人類ハ已ニ目的アル結果ナレハ詩文ハ奇遇ニハアラサルナリ之ヲ同一ニ論スヘキ理ナシ

且ツ論者ハ此世界ノコトヲ引キテ神ノ媒介ヲ証スルノミ果シテ然ラハ世界ハ本ナリ神ハ末ナリ実験ハ感覺ナリ

又人五味ヲ調和シテ美味ヲ作り五音ヲ調和シテ美楽ヲ作ル是レ亦目的ナク偶然ニナルカ若シ之ヲ偶然ニ任スルトキハ決シテ是美味ヲ生スヘキアランヤト

若シ此美味ハ自然ニ生セサルヲ以テ偶然ニナラス
トスルトキハ自然ニハ天帝ノ媒介ナシト云フコト
ヲ得ヘシ若シ天地間ニ一方ニ調和宜キヲ得タルモ
ノアリテ一方ニナキハ何ソヤ

一良心論

正邪ノ別ハ無始ニ存スト正義ノ法ハ永久ヨリ伝ハ
ルト

良心ハ快樂ヨリ生スルトスルトキハ何故正義ハ上
等トナリ快樂ハ下等トナルヤ

326 ○未来ノ問答

此目前ノ世界ハ形ト力ヨリ成ル

其力ハ外ヨリ来ルニアラス中ニ存スルヲ以テ此世

界ハ活物ナリ死物ニアラス

形ニハ万変アルモ力ニハ千別ナシ

形ニハ生滅アルモ力ニハ生滅ナシ

形ハ自然ナラサルモ力ノ本体ハ自由ナリ

形ト力ハ表裏内外ノ関係ト同一ナリ

表面ニハ形ノ世界アリ裏面ニハ力ノ世界アリ

此形ノ世界ヲ離レテ力ノ世界ニ入ル之ヲ迷ヲ離ル
ト云ヒ形ノ世界ニ住スル之ヲ迷ト云フ

此形ノ世界ハ苦アリテ楽ナシ所謂地獄ナリ力ノ世
界ハ苦ナク楽ナシ所謂極楽ナリ

今其迷ヲ離ル、ハ因ニ修メテ果ヲ求ムルモノナリ
之ヲ業因ト云フ業因トハ習慣又ハ癖ヲ起スモノニ

シテ人タルモノ此形ノ世界ヲ極楽ト思フ間ハ其業
因ニ引カレテ二世モ三世モ生滅ノ世界ニ迷ハサル

ヲエス若シ翻テ力ノ世界ヲ念スレハ力ノ世界ニ入
ルヘキ理ナリ

是レ迄永ク生死ニ迷シハ全ク其業因及ヒ習慣ヲ有
スレハナリ

万物皆此力ヲ有スルモ意力ヲ以テ其業因ヲ修ムル
ハ独リ人ニアリ故ニ生レ難キ人間ト云フナリ

327 ○精神作用（心理学）

歩行スルニ二時間ニ一里行クヲ要スト思ヘハ自然
ニ其通りノ足運ニナリ一時間ニ一里行クヲ要スト

思ヘハ自然ニ其運ニナルモノナリ熱海ニテ毎日稻

村迄一里五丁ノ処ヲ散歩スルニ二時頃ヨリ歩キ出シテモ三時カ四時頃歩キ出シテモ其帰リニハ日暮ニナル様ニナルナリ

328 ○同上

人ハ五十年ノ寿命トカ七十年ノ寿トカ予メ定メ置クハ人ヲシテ自然ニ其年頃ニ死ナスル様ニ運ハスルモノナリ若シ之ニ反シテ其寿ヲ限ラサルトキハ却テ長寿トナルヘシ是レ世間二年ヲ忘ルレハ長寿トナルト云フ所以ナリ又何年何月ニ死スルト予定シテ其時頃ニ死スルモ同一理ナリ

329 ○同上

英国ハ強シト云フハ英国真ニ強キニアラス我カ思想ニヨリテ強キヲ得ルナリ英国人ハ吾国強キ思想ヲ有シ外國人ハ彼国強シノ思想ヲ有スルニヨル肺病ニ死人多キハ肺病ハ必ス死スルノ思想ヲ有スルニヨリ虎刺病ニ吐瀉スルモ思想ノ伝染ナリ

330 ○同上

時様流行物ハ皆此思想ノ伝染ナリ

巴里府ハ思想伝染ノ本源ナリ或ハ曰巴里ハ伝染ノ「バクトリヤ」ナリト云フ

家康強キヲ以テ其臣下強キモ此伝染ナレハ家康モ亦「バクトリヤ」ナリ

331 ○同上

若キモノニ交レハ若クナリ老人ニ交レハ老人ニナリ婦人ニ交レハ性質婦人ニ類スルニ至ルハ亦思想ノ伝染トモ云フヘキモノナリ

332 ○習慣 心理学

幕府ノ頃ニハ棚倉ト云ヘハ余程悪キ処ノ様ニ考ヘタレハ今日ニモ尚其考ヘアリ
支那広東ノモノハ其子供ヲ叱スルニ陸ヘヤルゾト云フ

穢多ハ其子供ヲ叱スルニ穢多仲間ヲ出タスト云フ
小嶋ノ者ハ陸ヘヤルト云フ

澳太利洲ノ者ハ西洋ニハ罪人多シトテ甚タ其地ニユクヲ恐レタリト云フ

是レ皆住メハ都ト云フコトニテ習慣ヨリ生スルモ

ノナリ

333 ○習慣連想 心理学

鹿兒嶋ニテ小兒カ寒イトカ食イタイトカ云フトキ

ハ両親ハ「関ヶ原」ト云フテ叱スルナリ

案スルニ「関ヶ原」ノ時ニハ非常ノ艱難ヲ究メタ

ルニヨルト云フ

334 ○眼力ノ不確實（心理及生理）

海軍ノ人曰ク海上ヨリ諸山ヲ見ルニ昼ハ高ク夜ハ

低シト云フ

日月山川ノ大小遠近天氣地位ニヨリテ異ナリ

是レ皆内界ヨリ生スルナリ

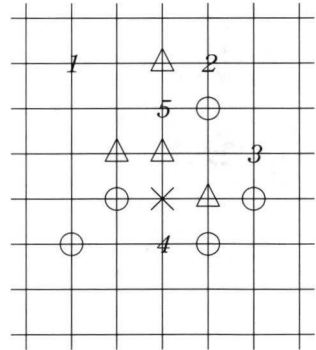
廿一年二月二十二日熱海ヨリ多賀村ニ遊フ

〔欄外〕

黒ヨリ始メヘシ

○白

△黒



井上円了センター年報 第2号 =正誤表=

頁	行	誤	正
82	上 4	かきた所	かきたる所
83	上17	つゝまれず	つゝまれず
10(211)	26	世俗諸侯にも	世俗諸侯も
12(209)	12	シュパイアー	シュパイエル
20(201)	8	フィリップは、	フィリップは
20(201)	22	Pomeii	Pomerii
27(194)	18	大学基金設立の	大学創設の
31(190)	24	inden	in den